

令和元年度（平成 30 年度対象）
教育委員会点検・評価

東温市教育委員会

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定されました。

この報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、平成 30 年度の教育委員会の点検及び評価を行い、報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. はじめに	1
2. 点検・評価の対象	1
3. 点検・評価の方法	1
4. 点検・評価結果の構成	2
■点検・評価結果	
(保育幼稚園課)	
重点施策 1 地域における子育て支援の充実	3
重点施策 2 乳幼児期の教育・保育の充実	6
(学校教育課)	
重点施策 3 社会総がかりで取り組む教育の推進	10
重点施策 4 安全・安心な教育環境の整備	12
重点施策 5 確かな学力を育てる教育の推進	15
重点施策 6 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進	18
重点施策 7 特別支援教育の充実	22
重点施策 8 教職員の資質・能力の向上	24
(学校給食センター)	
重点施策 9 学校給食の充実と食育の推進	26
(学校教育課)	
重点施策 10 いじめ・不登校等への組織的対応	30
重点施策 11 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進	32
(生涯学習課・図書館・歴史民俗資料館)	
重点施策 12 学び合い高め合う生涯学習の推進	34
重点施策 13 市民の全てが実践する人権教育の推進	40
重点施策 14 読書活動の推進と図書館利用の促進	43
重点施策 15 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用	46
重点施策 16 スポーツ活動の充実・促進	48
■ 教育委員会活動報告	
1 教育委員会組織	50
2 教育委員会の会議等開催状況	50
3 その他の活動	56

1. はじめに

教育委員会では、平成30年度東温市教育基本方針において基本理念を『心豊かに学びあう文化創造のまち「東温」を目指して、保育・幼児教育と学校教育の連携・推進をはじめ、青少年の健全育成、生涯学習の振興、体育・スポーツ活動の充実や地域文化活動の保存・発展を図ることにより、人権意識に根ざした健全で主体的な市民の育成に努める。』と定め、重点目標として、以下の16項目を掲げて取り組みました。

- (1) 地域における子育て支援の充実
- (2) 乳幼児期の教育・保育の充実
- (3) 社会総がかりで取り組む教育の推進
- (4) 安全・安心な教育環境の整備
- (5) 確かな学力を育てる教育の推進
- (6) 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進
- (7) 特別支援教育の充実
- (8) 教職員の資質・能力の向上
- (9) 学校給食の充実と食育の推進
- (10) いじめ・不登校等への組織的対応
- (11) 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動の推進
- (12) 学び合い高め合う生涯学習の推進
- (13) 市民の全てが実践する人権教育の推進
- (14) 読書活動の推進と図書館利用の促進
- (15) 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用
- (16) スポーツ活動の充実・促進

2. 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、上記重点目標を実現するために、平成30年度に取り組んだ重点施策のうち、主な事業について評価を行いました。

3. 点検・評価の方法

- (1) 点検・評価に当たっては、事業の実施状況及び成果を明らかにするとともに自己評価を行いました。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験等を有する方からご意見、ご助言をいただきました。ご意見等をいただいた方々は次のとおりです。

公立中学校PTA会長 田房 克寿
元公立小学校校長 古川 勝聡

4. 点検・評価結果の構成

(1) 対象事業

重点施策に基づき実施した主な事業について、事業名と決算額を掲載しています。

(2) 事業の実施状況

点検・評価対象事業の実施状況（概要）を記載しています。

(3) 評価

事業を評価基準に基づき点数評価を行い、自己評価を行っています。

(4) 評価基準

5：予想を大きく上回る成果が得られた。

4：想定以上に成果が得られた。

3：想定どおりの成果が得られた。

2：成果は得られたが、改善の必要がある。

1：成果は得られず、見直しの必要がある。

(5) 学識経験者意見

教育に関し学識経験等を有する方からいただいたご意見、ご助言を掲載しています。

点検・評価結果

重点施策	1	地域における子育て支援の充実
------	---	----------------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																														
(1) 放課後児童クラブ事業の推進 (決算額：88,486千円)	<p>市内全ての小学校区に放課後児童クラブを設置できており、市民サービスの平準化が図られています。</p> <p>8箇所、12クラブ体制で利用希望者全員を受け入れ、待機児童の発生はありません。</p> <p>支援員については、市主催の研修会(2回)への参加、発達等の専門家による巡回指導事業の実施、県等各種研修会への積極的な参加により質の確保に努めています。</p> <p>〔登録児童数〕 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井あおい組</td> <td>103</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>南吉井すみれ組</td> <td>104</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>南吉井たんぽぽ組</td> <td>96</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>拝志ひまわりクラブ</td> <td>33</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>川上くすのき児童クラブ</td> <td>117</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>上林ささゆりクラブ</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>東谷さくら児童クラブ</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>西谷みどり児童クラブ</td> <td>11</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>478</td> <td>525</td> </tr> </tbody> </table> <p>※長期のみ登録児童含む。</p>	クラブ名	平成29年度	平成30年度	北吉井あおい組	103	122	南吉井すみれ組	104	120	南吉井たんぽぽ組	96	103	拝志ひまわりクラブ	33	36	川上くすのき児童クラブ	117	106	上林ささゆりクラブ	8	9	東谷さくら児童クラブ	6	11	西谷みどり児童クラブ	11	18	合計	478	525	4	<p>長期休業期間中の利用者増加に対応するため、学校の余裕教室を借り受け、エアコン及び機械警備を整備することで希望者全員の受け入れができました。</p> <p>保護者説明会にてご意見のあった、入会選考要綱を見直し、必要性の優位等厳格な選考基準に改定しました。</p> <p>これらの対応により、利用者の利便性、公平性を保つことができました。</p>
クラブ名	平成29年度	平成30年度																															
北吉井あおい組	103	122																															
南吉井すみれ組	104	120																															
南吉井たんぽぽ組	96	103																															
拝志ひまわりクラブ	33	36																															
川上くすのき児童クラブ	117	106																															
上林ささゆりクラブ	8	9																															
東谷さくら児童クラブ	6	11																															
西谷みどり児童クラブ	11	18																															
合計	478	525																															

	〔支援員数〕 (単位：人)			
	クラブ名	平成29年度		
	北吉井あおい組	5(2)	5(2)	
	南吉井すみれ組	9(2)	10(2)	
	南吉井たんぽぽ組	9(2)	9(2)	
	拝志ひまわりクラブ	4	6	
	川上くすのき児童クラブ	10(2)	10(2)	
	上林ささゆりクラブ	3	3	
	東谷さくら児童クラブ	3	4	
	西谷みどり児童クラブ	4	4	
	合 計	47(8)	51(8)	
	※ () は嘱託(常勤)外数			
<p>(2) 婚活支援事業の推進</p> <p>① 婚活相談会 (決算額： 102 千円)</p> <p>② 松山圏域3市3町事業 (決算額： 372 千円)</p>	<p>独身者やその親等の不安解消を目的に、個別の相談会を2月3日に開催しました。1件30分程度の相談で11人の利用がありました。</p> <p>えひめ結婚支援センターの職員やボランティアスタッフが最新の婚活事情や心構えなどをアドバイスしました。</p> <p>内訳…男性6名、女性2名、親3名</p> <p>(出会いイベントの開催)</p> <p>3市3町で出会いイベントを各市町が1回開催し、東温市においては、7月29日に市内のお菓子館にて男性18名、女性17名の参加で、ゲームやプロフィールトークによりイベントを開催しました。4組のカップルが成立しました。</p> <p>(親婚活の開催)</p> <p>親同士による婚活交流会を松山市で2回開催し、46人が参加しました。その後の子どもの引合せは19組で、内交際数は5組となっています。(東温市民2名参加)</p>	3	<p>本市総合戦略において「出会いを応援する。」となっており、各種事業で独身者の出会いの機会の場が創出できました。</p> <p>3市3町の取組では他市町と協議を重ね、充実した内容で実施することができました。</p> <p>今後も結婚を希望する方へのサポートは必要であるので、市の「縁結びサポーター」を活用して成婚に繋がる事業展開が求められます。</p>	

<p>③ 縁結びサポート事業</p> <p>(決算額: 434 千円)</p> <p>《県補助: 199 千円》</p>	<p>(WEBサイトの共同運営)</p> <p>えひめ結婚支援センターホームページ内の3市3町の婚活支援サイトを共同で運営し、独身者にイベント情報や交流事業を発信しました。</p> <p>県のお見合い事業である「愛結び」のサテライト会場を中央公民館において、金曜日の夜と日曜日の日中に7月以降 月4回開設しました。</p> <p>独身者の会員登録手続きやタブレットによるお相手の閲覧、交際フォローができました。</p> <p>(事業実績)</p> <table border="1" data-bbox="507 831 994 1093"> <tr> <td>開催日数</td> <td>36 日</td> </tr> <tr> <td>時 間</td> <td>金曜日 17 時~20 時 日曜日 13 時~18 時</td> </tr> <tr> <td>延利用人数</td> <td>143 人</td> </tr> <tr> <td>お見合い組数</td> <td>20 組</td> </tr> <tr> <td>交 際 数</td> <td>9 組</td> </tr> </table>	開催日数	36 日	時 間	金曜日 17 時~20 時 日曜日 13 時~18 時	延利用人数	143 人	お見合い組数	20 組	交 際 数	9 組		
開催日数	36 日												
時 間	金曜日 17 時~20 時 日曜日 13 時~18 時												
延利用人数	143 人												
お見合い組数	20 組												
交 際 数	9 組												

【学識経験者意見】

社会が複雑になるにつれ、家族の在り方も少しずつ様変わりしてきています。地域に於ける子育て支援活動が注目されるのも、こうした社会の変化によるところが大きいと思います。

東温市における子育て支援の充実としては、市内すべての小学校区に放課後児童クラブが設置できており、共働き家庭等の不安の解消に大きく貢献していることです。また、待機児童問題は大きな社会問題ともなっていますが、市内の保育園において、待機児童の発生がないことは、保護者の求職活動への負担もなくなり、子育て世代にとって、安心して過ごせる地域づくりにつながっていると思います。

このように、子育て支援の充実に伴って、若い世帯も増えていってほしいものですが、出会いから結婚まで進むには色々あるようです。婚活支援事業の推進により、何組かのカップルも成立しているため、今後も出会いの場を工夫し、住みよい東温市の発展に貢献してほしいと思います。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
<p>(1) 市立幼稚園一時預かりの拡充実施 (決算額 : 8,025 千円)</p>	<p>平成 28 年度から、東谷・西谷幼稚園において、通年で預かり保育を実施するとともに、重信・北吉井・川上幼稚園では、重信幼稚園が先行する形で、預かり保育を試行的に実施し、毎年定期的に見直しを図り、事業の拡充をしてきました。</p> <p>平成 30 年度は、学期中の預かり保育について、それまで実施していなかった北吉井幼稚園及び川上幼稚園にも拡充し、市立幼稚園全園での実施となりました。</p> <p>また、夏季休業中等の預かり保育についても、これまでと同様に実施しました。</p> <p>【重信・北吉井・川上幼稚園】</p> <p>①時間及び利用料</p> <p>学期中 14:00～16:00 100 円／回</p> <p>夏季休業中 9:00～14:00 500 円／回 9:00～16:00 600 円／回</p> <p>②定員 概ね 30 人</p> <p>③支援員 加配 2 名</p> <p>【東谷・西谷幼稚園】</p> <p>①時間及び利用料</p> <p>学期中 8:00～ 9:00 無料 14:00～16:00 100 円／回 14:00～18:00 200 円／回</p> <p>長期休業中等（夏季休業中含む） 8:00～13:00 300 円／回 13:00～18:00 300 円／回</p>	4	<p>平成 29 年度は、夏季休業中の預かり保育を全園へ拡充しましたが、平成 30 年度は、重信幼稚園での学期中の預かり保育の実績を考慮し、北吉井・川上幼稚園を加え、全園での実施へ拡充しました。</p> <p>全園での学期中の預かり保育実施により、市内の保育ニーズに対する幼稚園側での受け皿が整備されました。</p>

②定員 概ね5人

③支援員 加配2名

[利用実績]

園名 (在園児数)	月	開所日数 (A)	利用人数		一日当たり 利用人数 (B) / (A)
			実利用人数	延べ利用 人数 (B)	
重幼 (101)	4	12	31	149	12.4
	5	20	36	324	16.2
	6	20	44	374	18.7
	7	13	43	256	19.7
	夏休み	23	41	371	16.1
	9	16	38	304	19.0
	10	21	45	394	18.8
	11	20	51	438	21.9
	12	13	48	315	24.2
	1	14	48	301	21.5
	2	19	51	423	22.3
	3	12	50	265	22.1
	計	203	-	3,914	19.3
	北幼 (107)	4	13	20	77
5		21	35	200	9.5
6		20	43	271	13.6
7		12	52	216	18.0
夏休み		23	48	385	16.7
9		16	49	270	16.9
10		21	70	403	19.2
11		21	71	424	20.2
12		13	53	296	22.8
1		14	51	310	22.1
2		19	68	400	21.1
3		12	57	258	21.5
計		205	-	3,510	17.1
川幼 (87)		4	13	28	140
	5	21	42	325	15.5
	6	20	60	417	20.9
	7	13	61	335	25.8
	夏休み	23	29	297	12.9
	9	16	47	388	24.3
	10	21	62	470	22.4
	11	21	54	458	21.8
	12	13	48	318	24.5
	1	13	40	288	22.2
	2	19	49	381	20.1
	3	11	48	277	25.2
	計	204	-	4,094	20.1
	東幼 (11)	学年始	5	8	25
4		11	7	62	5.6
5		21	7	111	5.3
6		19	8	115	6.1
7		14	8	89	6.4
夏休み		27	11	165	6.1
9		17	9	82	4.8
10		21	6	81	3.9
11		20	6	87	4.4
12		14	9	64	4.6
冬休み		8	10	47	5.9
1		15	6	64	4.3
2		18	7	79	4.4
3		12	6	46	3.8
学年末		6	14	50	8.3
計		228	-	1,167	5.1
西幼 (16)		学年始	4	5	16
	4	11	6	29	2.6
	5	20	9	72	3.6
	6	20	8	79	4.0
	7	10	10	56	5.6
	夏休み	25	13	172	6.9
	9	15	10	101	6.7
	10	22	13	144	6.5
	11	18	13	122	6.8
	12	13	12	92	7.1
	冬休み	8	10	31	3.9
	1	15	11	75	5.0
	2	19	13	126	6.6
	3	12	13	79	6.6
	学年末	6	15	52	8.7
	計	218	-	1,246	5.7

※在園児数については、H31.3.1時点の人数

<p>(2) 森のようちえん 推進事業の実施 (決算額：300千円)</p>	<p>平成30年度から令和元年度までの2年間をかけ、川上幼稚園において、森のようちえん推進事業を実施しています。</p> <p>この事業は、県の森林環境税を財源とする「森林わくわく体験」推進事業の中の一事業で、幼稚園において森林に親しむ活動を通して、豊かな感性を育むとともに、自然環境や命に対する意識の向上に貢献することを趣旨とするものです。</p> <p>平成30年度は、園児の遊びの中に自然を取り入れるため、積極的に園外保育を実施するとともに、保護者を交えて自然や命に対して意識を向けるような取組を実施しました。</p> <p>また、県指導主事や市内幼稚園・保育所関係者を招待して公開保育を実施し、その内容を基に研究協議を行いました。</p> <p>H30 森のようちえん推進事業【川上幼稚園】</p> <p>①事業内容（平成30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園周辺や森林に出掛け、自然を感じたり触れたりする。 ・身近な自然の中で、友達や教師と関わり遊ぶ楽しさを感じる。 ・木材や自然物を使って、見立てたり作ったりすることを楽しむ。 <p>②主な事業実績</p> <p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白猪の滝・くぼの泉公園（遠足） ・木のおもちや（園内：外部講師） <p>【2学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育（園内・園外活動） ・砥部町ゆとり公園（遠足） 	<p>4</p> <p>本事業を通じて、園児に対して自然への関心を高めるとともに、保護者参加のカリキュラムを実施することで、家庭からの発信が見受けられるなど、子どもの発育環境の向上が見られた。</p> <p>今後、2年目となる本事業に関して、1年目の親子交流から、他園の子どもたちとの交流へ拡充し、園児の活動の場を広げていきたい。</p>
--	--	---

	<p>【3学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で木で遊ぶ(園内：外部講師) ・親子で園外保育(遠足) <p>③参加者 園児 85 人とその保護者 (途中入退園児等含む。) 外部講師 延べ 2 人</p> <p>④収支</p> <table border="1" data-bbox="501 645 999 1088"> <tr> <td>収入</td> <td>県補助金</td> <td>300,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">支出</td> <td>講師謝礼</td> <td>20,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>2,200 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>88,568 円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>820 円</td> </tr> <tr> <td>バス借上料</td> <td>97,200 円</td> </tr> <tr> <td>高速道路使用料</td> <td>3,300 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>87,912 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>300,000 円</td> </tr> </table>	収入	県補助金	300,000 円	支出	講師謝礼	20,000 円	旅費	2,200 円	消耗品費	88,568 円	通信運搬費	820 円	バス借上料	97,200 円	高速道路使用料	3,300 円	備品購入費	87,912 円	合計	300,000 円	
収入	県補助金	300,000 円																				
支出	講師謝礼	20,000 円																				
	旅費	2,200 円																				
	消耗品費	88,568 円																				
	通信運搬費	820 円																				
	バス借上料	97,200 円																				
	高速道路使用料	3,300 円																				
	備品購入費	87,912 円																				
	合計	300,000 円																				

【学識経験者意見】

預かり保育は、普段通っている幼稚園で長く預かってもらうこととなり、子どもにとってあまり負担にならず、また、預ける保護者にとっても、慣れた環境に子どもを預けるため安心な事業だと思います。平成 30 年度には市立幼稚園の全園が夏季休業中などの長期休業を含め、年間を通した実施となり、市内の保育ニーズに十分応えた対応がなされています。

利用時間と料金が、園のグループによって違いがみられますが、これは地域の特性を考慮してのことでしょうか。今後、より適切な利用体系となるようにしてほしいと思います。また、預かり保育の時間帯の教員数は、通常の教育時間より少なくなるため、子どもたちが安全で安心して過ごせる環境づくりにも努めてください。

重点施策 3	社会総がかりで取り組む教育の推進
--------	------------------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																													
<p>学校評価の効果的な活用と公表 (決算額： ー 千円)</p>	<p>学校教育法第 42 条に基づき、学校の教育活動や学校運営について学校関係者が評価を行い、必要な支援、改善等を図り、教育水準を高める必要があるため、全ての幼稚園、小・中学校において学校評価を実施しました。</p> <p>また、学校評価報告会を小・中学校は2月18日、20日に開催し、各学校の課題と成果について意見交換を行うとともに、評価内容、評価方法等について検討を行いました。</p> <p>なお、評価結果は各学校のホームページで公表しています。</p> <p>〔学校評価実施状況〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">学校等名</th> <th style="width: 60%;">実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">北吉井小学校</td> <td>平成30年7月17日</td> </tr> <tr> <td>平成31年2月4日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">南吉井小学校</td> <td>平成30年7月18日</td> </tr> <tr> <td>平成31年2月7日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拝志小学校</td> <td>平成30年6月7日</td> </tr> <tr> <td>平成31年2月1日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上林小学校</td> <td>平成30年6月15日</td> </tr> <tr> <td>平成31年2月7日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川上小学校</td> <td>平成30年6月22日</td> </tr> <tr> <td>平成31年2月7日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">東谷小学校</td> <td>平成30年6月7日</td> </tr> <tr> <td>平成31年1月31日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">西谷小学校</td> <td>平成30年7月3日</td> </tr> <tr> <td>平成31年2月8日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重信中学校</td> <td>平成30年7月5日</td> </tr> <tr> <td>平成31年1月31日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内中学校</td> <td>平成30年7月9日</td> </tr> <tr> <td>平成31年1月24日</td> </tr> </tbody> </table>	学校等名	実施日	北吉井小学校	平成30年7月17日	平成31年2月4日	南吉井小学校	平成30年7月18日	平成31年2月7日	拝志小学校	平成30年6月7日	平成31年2月1日	上林小学校	平成30年6月15日	平成31年2月7日	川上小学校	平成30年6月22日	平成31年2月7日	東谷小学校	平成30年6月7日	平成31年1月31日	西谷小学校	平成30年7月3日	平成31年2月8日	重信中学校	平成30年7月5日	平成31年1月31日	川内中学校	平成30年7月9日	平成31年1月24日	3	<p>学校評価の取組を通じて各幼稚園、小・中学校として、現在、重点的に取り組むべきことは何かを把握し、学校全体として教育活動の充実・改善に取り組み、学校運営についても組織的、継続的な改善を図ることができました。</p> <p>また、学校運営の状況や児童生徒等の様子について保護者、地域の代表者等との十分な意見交換や公表を行うことで、「地域に開かれ、地域から信頼される」学校づくりに向けて努力しています。</p> <p>今後も、評価の結果を保護者や地域住民にホームページや学校便りで丁寧に周知し、コミュニティスクールの構築に向けて学校運営への参画を促進していくことが重要であると考えます。</p>
学校等名	実施日																															
北吉井小学校	平成30年7月17日																															
	平成31年2月4日																															
南吉井小学校	平成30年7月18日																															
	平成31年2月7日																															
拝志小学校	平成30年6月7日																															
	平成31年2月1日																															
上林小学校	平成30年6月15日																															
	平成31年2月7日																															
川上小学校	平成30年6月22日																															
	平成31年2月7日																															
東谷小学校	平成30年6月7日																															
	平成31年1月31日																															
西谷小学校	平成30年7月3日																															
	平成31年2月8日																															
重信中学校	平成30年7月5日																															
	平成31年1月31日																															
川内中学校	平成30年7月9日																															
	平成31年1月24日																															

	重信幼稚園	平成 30 年 6 月 26 日 平成 31 年 2 月 19 日		
	北吉井幼稚園	平成 30 年 6 月 22 日 平成 31 年 2 月 5 日		
	川上幼稚園	平成 30 年 5 月 10 日 平成 31 年 2 月 7 日		
	東谷幼稚園	平成 30 年 6 月 27 日 平成 31 年 2 月 22 日		
	西谷幼稚園	平成 30 年 7 月 17 日 平成 31 年 3 月 6 日		

【学識経験者意見】

学校評価は、教育計画に基づいた教育活動が機能しているかどうかを確かめ、PDCA サイクルを確立するためのものです。また、その評価結果を生かすことで、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、学校・家庭・地域が努力しなければなりません。

この取り組みを市内全ての幼稚園、小・中学校において実施し、ホームページで公表していることは、各学校のよさや課題が明らかになり学校の信頼性が高まることにもつながっています。また、それにより保護者と連携・協力することが必要な内容を明らかにすることもできます。評価結果が教育活動その他の学校運営の改善につながり学校・家庭・地域の絆が深まり、東温市の教育の質がより高まっていくことを期待しています。

重点施策 4	安全・安心な教育環境の整備
--------	---------------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
<p>(1) 老朽施設改修(大規模改修)事業の推進</p> <p>① 川上小学校屋外プール改築工事 (決算額： 269,006 千円)</p> <p>② 重信中学校屋外プール大規模改修工事 (決算額： 64,964 千円)</p>	<p>学校施設改修計画に基づき、平成 30 年度は、小学校 1 校のプール改築工事、中学校 1 校プールの大規模改修工事を実施しました。</p> <p>〔川上小学校屋外プール改築工事概要〕</p> <p>工期 平成 30 年 6 月～ 平成 31 年 3 月</p> <p>概要 25m×8 コースプール、幼児用低学年プール、192 席観覧席、39 台駐車場整備ほか</p> <p>〔重信中学校屋外プール大規模改修工事概要〕</p> <p>工期 平成 30 年 6 月～ 平成 31 年 3 月</p> <p>概要 プール底・側面のシート張り替え、プールサイド等外部の防水塗、建具改修ほか</p>	4	<p>順調に改築工事及び大規模改修工事を竣工できました。</p> <p>また、今回の川上小学校屋外プール改築工事に併せ、旧プール跡地に駐車場を整備することにより、学校周辺の渋滞解消を図ることができました。</p> <p>今後も、児童生徒の安全・安心な教育環境を確保するため、計画的に老朽化施設の改修に努めていきます。</p>

<p>(2) 学校の危機管理体制の充実</p> <p>① 防災教育の充実 (学校防災教育実践モデル地域研究事業(上林小学校)) (決算額: 60千円)</p> <p>② 不審者情報提供システム (決算額: 74千円)</p> <p>③ 通学路における安全教育の推進と環境整備 (決算額: ー千円)</p>	<p>全ての幼稚園、小・中学校で警察・危機管理課その他関係機関と連携した避難訓練や交通安全教室等を実施しました。</p> <p>平成30年度は、上林小学校を拠点校として、「学校防災教育実践モデル地域研究事業」を実施し、炊き出し訓練や防災マップ作成に取り組みました。</p> <p>不審者情報提供システムは、関係機関と連携を図り、迅速かつ正確な情報提供に努めました。</p> <p>[登録・配信件数] (単位: 件)</p> <table border="1" data-bbox="510 884 1021 1030"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録件数</td> <td>412</td> <td>445</td> </tr> <tr> <td>配信件数</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成30年度中に発生した重大事件等を受け、交通安全・防犯・防災等の観点から、小・中学校の通学路を関係機関が合同で点検し、防犯灯・路面標示・カーブミラーの設置等の危険箇所対策を関係機関と連携して行いました。</p>		平成29年度	平成30年度	登録件数	412	445	配信件数	9	10	<p>3</p> <p>「総合的な学習の時間」や防災訓練等を通して子どもたちの生きる力を育むための防災教育に取り組むことができました。特に、上林小学校では全校を挙げて実践的な防災教育に取り組み、児童及び教職員の自助・共助の意識向上を図ることができました。</p> <p>不審者情報提供システムは、保護者等への積極的な利用の促進に努めます。</p> <p>通学路の安全対策を推進することで、安全・安心な登下校の環境を整備することができました。</p>
	平成29年度	平成30年度									
登録件数	412	445									
配信件数	9	10									

【学識経験者意見】

川上小学校のプールは市内小学校の中でも古く、今まで改修を繰り返しながら使用していたと思います。今回の改築工事でプールが新しくなり、子どもたちはもちろんのこと、家庭・地域の方も喜んでいることと思います。

各校のホームページを見ていると水泳指導の一環として、水難で命を落とさないよう着衣水泳が実施され、その指導の様子をうかがい知ることができました。命を守るための水泳にも力を入れていることに安心しました。

防災教育については、近い将来予測される防災に関して、適切な判断と安全の保持増進に関する実践的な能力を養うことが大切とされています。市内各校においては、学期に1回は各種避難訓練が実施され、子どもたちに生きる力を育むための防災教育が行われ、学校に子どもたちを預けている保護者にとって大きな安心となっています。ただ、市内の学校の立地場所や通学路の状況が随分と異なるため、地域の様子に応じた安全対策に今後も力を入れてほしいと思います。

子どもたちを狙った声かけやつきまといなどの不審者情報は、いち早く知ることが大切です。これからも保護者等への利用の啓発を続けてください。

重点施策 5	確かな学力を育てる教育の推進
--------	----------------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価								
(1) 全国学力・学習状況調査の実施と有効活用 (決算額: — 千円)	小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査や愛媛県学力診断調査、定着度確認テスト等の結果をもとに、東温市立小中学校の状況を分析し、学力向上推進委員会で今後の学力向上に向けた取組について協議を行うなど、確かな学力の定着に努めました。	3	学校向上推進主任を中心に、各学校の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、授業改善の更なる向上のための方法や家庭学習の充実のための効果的な方法を検討することができました。								
(2) 小学校外国語活動の指導充実 (決算額: 3,072 千円)	小学校5・6年生で必修化されており、令和2年度から小学校3・4年生についても必修化される外国語活動において、市内全小学校3・4年生及び5年生は日本人外国語活動支援員を1名増員し2名、6年生は外国語指導助手(A L T)2名を配置しました。 外国語活動の授業を学級担任とともに各クラス年間3・4年生は15時間、5・6年生は50時間行いました。	3	支援員1名を増員し、授業数増加に対応することができました。また、聞いたり話したりすることにより、外国語に慣れ親しむことができ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができました。								
(3) 国際理解教育の推進 (決算額: 832 千円)	児童生徒の国際理解を深めるためになめがわ清流の森において、生涯学習課開催の「わんぱく広場」及び「ジュニアリーダー」において、外国人講師によるミニゲームや児童生徒との交流することで、国際理解教育の推進を図りました。 [わんぱく広場] <table border="1" data-bbox="507 1688 1002 1787"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年8月8,9日</td> <td>小学生54人</td> </tr> </tbody> </table> [ジュニアリーダー] <table border="1" data-bbox="507 1839 1002 1984"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年8月16,17日</td> <td>中学生17人</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	参加者数	平成30年8月8,9日	小学生54人	実施日	参加者数	平成30年8月16,17日	中学生17人	4	飯盒炊飯に外国語講師が参加し、自国の紹介や英語を使ったゲームを行い、児童生徒とコミュニケーションを図りました。また、キャンプファイヤーで外国語講師の紹介を児童に英語でしたり、講師の母国の文化に触れることで、国際文化に興味を持ってもらい、国際理解教育を推進しました。 今回、生涯学習課の
実施日	参加者数										
平成30年8月8,9日	小学生54人										
実施日	参加者数										
平成30年8月16,17日	中学生17人										

			小学生対象の「わんぱく広場」、中学生対象の「ジュニアリーダー」と共催することにより、昨年と比較すると国際理解教育推進事業の参加人数が、大幅な増加となりました。 22人(H29)⇒71人(H30)								
(4) ICT環境整備の推進と有効活用 (決算額：14,609千円)	平成28年度に導入した学校グループウェア及び平成29年度に導入した校務支援システムを円滑に運用することにより、教職員の業務負担軽減を図りました。また、セキュリティ強化機器等の導入により、個人情報のセキュリティ強化を実施しました。	4	校務支援システム及びグループウェアの導入による各種情報の電子化等により、教職員の事務の省力化や迅速な情報共有が図られるなど、導入したシステムを有効的に活用することができました。 また、セキュリティ強化により、電子化した情報の外部への漏えいを防ぐことができました。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校務支援システム</td> <td>児童生徒名簿情報、出欠席情報、成績情報等を電子化</td> </tr> <tr> <td>グループウェア</td> <td>行事予定、掲示板、メッセージ、機能等を持った学校グループウェア</td> </tr> <tr> <td>セキュリティ強化機器</td> <td>パスワード及び手のひら認証による二要素認証、情報の暗号化等</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	校務支援システム	児童生徒名簿情報、出欠席情報、成績情報等を電子化	グループウェア	行事予定、掲示板、メッセージ、機能等を持った学校グループウェア	セキュリティ強化機器	パスワード及び手のひら認証による二要素認証、情報の暗号化等		
項目	内容										
校務支援システム	児童生徒名簿情報、出欠席情報、成績情報等を電子化										
グループウェア	行事予定、掲示板、メッセージ、機能等を持った学校グループウェア										
セキュリティ強化機器	パスワード及び手のひら認証による二要素認証、情報の暗号化等										
<p>【学識経験者意見】</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、授業改善のさらなる向上のための方法はもちろんのこと、家庭学習のための効果的な方法を検討できたことの意義は大きいと思います。家庭学習の大切さと言うものの、各家庭の状況が違うため、横一列で力をそろえることは難しいことです。そうした状況も踏まえ、家庭学習がより充実したものとなるよう、これからも学校と家庭との連携を図ってほしいと思います。</p> <p>外国語活動は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成とコミュニケーション能力の素地を養うことを目指しています。東温市では、このような力を育てるため支援員を増やすなど外国語活動の充実に向けた取り組みがなされています。また、国際理解教育の推進にも工夫を重ね、その取り組みへの理解が参加人数の大幅な増加にもつながったと思います。今後も、楽しく触れ合いながら相互理解が深まる活動に期待しています。</p>											

教職員の労働時間が長いことは周知のこととなりました。さまざまな状況进行处理しなくてはならず、勤務時間の大幅な超過は社会問題ともなっています。そうした教職員の負担軽減を図るため導入された校務支援システムは、現場の先生方にとって、大変ありがたいものだと思います。しかし、こうしたシステムには人的ミスが発生する恐れもあり、セキュリティーの強化に努めてほしいと思います。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																														
(1) 坊っちゃん劇場アウトリーチ事業 (決算額：400千円)	<p>坊っちゃん劇場の俳優が小・中学校へ出向き、学習発表会の練習指導や演技指導を行うなど、各学校のニーズに応じた事業が展開されました。</p> <table border="1" data-bbox="480 584 1034 1111"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>指導内容</th> <th>回数 (年間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井小</td> <td>ダンス振付指導</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>南吉井小</td> <td>学習発表会練習</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>拝志小</td> <td>学習発表会芝居練習</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>上林小</td> <td>学習発表会劇指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>川上小</td> <td>歌劇演技指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>東谷小</td> <td>学習発表会劇指導</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>西谷小</td> <td>学習発表会劇指導</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>重信中</td> <td>演劇部部員演技指導</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>川内中</td> <td>人権劇台本作り、演技指導</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	指導内容	回数 (年間)	北吉井小	ダンス振付指導	10	南吉井小	学習発表会練習	5	拝志小	学習発表会芝居練習	5	上林小	学習発表会劇指導	3	川上小	歌劇演技指導	3	東谷小	学習発表会劇指導	2	西谷小	学習発表会劇指導	2	重信中	演劇部部員演技指導	7	川内中	人権劇台本作り、演技指導	3	3	<p>児童生徒が坊っちゃん劇場の俳優から直接、自己表現力を高める演技指導を受け、貴重な体験ができ、児童の情操や感性を育むことができました。</p> <p>また、中学生の演劇発表等においては、日頃の練習の成果が発揮でき、今後に向けた活動意欲が高まりました。</p>
学校名	指導内容	回数 (年間)																															
北吉井小	ダンス振付指導	10																															
南吉井小	学習発表会練習	5																															
拝志小	学習発表会芝居練習	5																															
上林小	学習発表会劇指導	3																															
川上小	歌劇演技指導	3																															
東谷小	学習発表会劇指導	2																															
西谷小	学習発表会劇指導	2																															
重信中	演劇部部員演技指導	7																															
川内中	人権劇台本作り、演技指導	3																															
(2) 特色ある学校づくり事業 (決算額：1,420千円)	<p>市内小・中学校において、地元住民の指導による体験活動や地元企業での職場体験など、地域の特性を活かした魅力的な体験型ふるさと教育を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="480 1384 1034 2000"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>主な活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井小</td> <td>校区内の高齢者施設利用者や障がい者との交流会</td> </tr> <tr> <td>南吉井小</td> <td>野菜を育てる活動を通して、命の大切さを学ぶ学習</td> </tr> <tr> <td>拝志小</td> <td>地元講師の方に戦争の読み聞かせをしていただき、命の大切さを学ぶ平和学習</td> </tr> <tr> <td>上林小</td> <td>地元講師を迎えて、英語を使った交流会</td> </tr> <tr> <td>川上小</td> <td>校区内の高齢者施設利用者との交流会</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	主な活動内容	北吉井小	校区内の高齢者施設利用者や障がい者との交流会	南吉井小	野菜を育てる活動を通して、命の大切さを学ぶ学習	拝志小	地元講師の方に戦争の読み聞かせをしていただき、命の大切さを学ぶ平和学習	上林小	地元講師を迎えて、英語を使った交流会	川上小	校区内の高齢者施設利用者との交流会	3	<p>各学校の特性を活かした様々な体験を通して、教科書だけでは学べない、児童生徒の豊かな感性を育て、社会的な人間性を育むことにつながっています。</p>																		
学校名	主な活動内容																																
北吉井小	校区内の高齢者施設利用者や障がい者との交流会																																
南吉井小	野菜を育てる活動を通して、命の大切さを学ぶ学習																																
拝志小	地元講師の方に戦争の読み聞かせをしていただき、命の大切さを学ぶ平和学習																																
上林小	地元講師を迎えて、英語を使った交流会																																
川上小	校区内の高齢者施設利用者との交流会																																

	<table border="1"> <tr> <td>東谷小</td> <td>地元の人と交流しながら、米づくりの体験学習</td> </tr> <tr> <td>西谷小</td> <td>地元のボランティア活動をされている方との交流会</td> </tr> <tr> <td>重信中</td> <td>市内及び周辺地域の事業所での職場体験</td> </tr> <tr> <td>川内中</td> <td>市内及び周辺地域の事業所での職場体験</td> </tr> </table>	東谷小	地元の人と交流しながら、米づくりの体験学習	西谷小	地元のボランティア活動をされている方との交流会	重信中	市内及び周辺地域の事業所での職場体験	川内中	市内及び周辺地域の事業所での職場体験		
東谷小	地元の人と交流しながら、米づくりの体験学習										
西谷小	地元のボランティア活動をされている方との交流会										
重信中	市内及び周辺地域の事業所での職場体験										
川内中	市内及び周辺地域の事業所での職場体験										
<p>(3) 緑の少年隊事業 (決算額： 80 千円)</p>	<p>上林小学校と西谷小学校の緑の少年隊が、緑化活動や奉仕活動に取り組み、活動を通して緑の大切さを学ぶとともに、ボランティア精神の向上に努めました。</p> <p>〔上林ささゆり緑の少年隊〕 隊員数 20 名 (3～6 年生) 主な活動 ・地域の公園や通学路等のボランティア清掃 ・環境ポスターの製作・貼り替え ・しいたけ植菌活動 ・サツマイモ苗植え、掘り など</p> <p>〔西谷みどりの少年隊〕 隊員数 25 名 (4～6 年生) 主な活動 ・路側帯の整備活動 ・イヨアブラギクの挿し木 ・森林体験教室 ・竹炭焼き など</p>	4	<p>永年にわたり学校・保護者・地域が一体となり、森林教室での体験活動等を通じて、児童が互いに助け合いながら自然や森林の大切さを学び、ふるさとへの愛着と心豊かな感受性を育むことができました。</p> <p>また、環境学習の推進にも大変効果的の事業となっています。</p>								

<p>(4) 東温市水泳記録会、陸上記録会の開催 (決算額: 872千円)</p>	<p>体育・スポーツの振興と児童の体力向上を図るため、陸上記録会を実施し、大会参加者に掛かる交通費の補助を行いました。 なお、水泳記録会は、猛暑により中止しました。</p> <p>〔市陸上記録会〕</p> <table border="1" data-bbox="501 501 1015 647"> <tr> <td>実施日</td> <td>平成30年10月11日(木)</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>ニジニアスタジアム</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>児童374人</td> </tr> </table> <p>〔県陸上記録会〕</p> <table border="1" data-bbox="501 696 1015 853"> <tr> <td>実施日</td> <td>平成30年11月12日(月)</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>ニジニアスタジアム</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>児童33人</td> </tr> </table>	実施日	平成30年10月11日(木)	場 所	ニジニアスタジアム	参加者	児童374人	実施日	平成30年11月12日(月)	場 所	ニジニアスタジアム	参加者	児童33人	<p>3</p>	<p>水泳記録会については猛暑により、児童の安全を考慮して中止しました。</p> <p>陸上記録会では、児童の競技に取り組む意欲が高まり、技能・体力の向上が図られるとともに、陸上運動等の普及につながっています。</p> <p>また、スポーツを通じた市内の学校間の交流の場でもあることから、今後も継続に努めていきます。</p>
実施日	平成30年10月11日(木)														
場 所	ニジニアスタジアム														
参加者	児童374人														
実施日	平成30年11月12日(月)														
場 所	ニジニアスタジアム														
参加者	児童33人														
<p>(5) 環境教育推進事業 (決算額: 300千円)</p>	<p>川内中学校において、“環境教育を通して「気づき、考え、行動」できる生徒を育成する”ことを目的として、活動を行いました。</p> <table border="1" data-bbox="491 1267 1024 1621"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>主な活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>環境教育出前講座、リサイクル企業の見学</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>教科における環境教育、ゲストティーチャーの活用</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>発電所見学、防災学習、エコキャップ回収運動</td> </tr> </tbody> </table>	学年	主な活動内容	1年生	環境教育出前講座、リサイクル企業の見学	2年生	教科における環境教育、ゲストティーチャーの活用	3年生	発電所見学、防災学習、エコキャップ回収運動	<p>3</p>	<p>体験活動をするだけでなく、得た情報を発信することで、環境問題に関ろうとする態度を身に付けさせることができました。</p> <p>また、災害の被害を減らすために日常から自然環境保護活動の重要性について考えることができました。</p>				
学年	主な活動内容														
1年生	環境教育出前講座、リサイクル企業の見学														
2年生	教科における環境教育、ゲストティーチャーの活用														
3年生	発電所見学、防災学習、エコキャップ回収運動														

【学識経験者意見】

豊かな心を育てる一つの方法として、表現力を育てることも大切だと思います。市内の各校では学習発表会が行われ、表現する力が求められています。このような教育活動へ、坊っちゃん劇場の俳優が学習発表会の練習指導や演劇指導をすることで、より豊かな表現力の育成につながっていると思います。また、坊っちゃん劇場の観劇では、子どもたちが迫力ある演劇に触れたり、舞台芸術の素晴らしさにも触れたりすることができることは、東温市の特色ある教育活動として高く評価できます。

特色ある学校づくり事業では、各校とも地域性を生かした活動内容となっており、家庭と地域との信頼関係づくりが積極的に行われていることの証だと思います。しかし、こうした活動の時間が増えることにより、教員への負担も増えるはずで、適切な活動内容を見極めた事業であってほしいと思います。

上林小学校と西谷小学校における緑の少年隊活動は、それぞれの学校の伝統として受け継がれています。今後も、小規模校ならではの特色を生かし、緑の大切さを学ぶとともにボランティア精神の向上に努めてほしいと思います。

重点施策 7	特別支援教育の充実
--------	-----------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																																			
(1) 学校生活支援員の配置の拡充 (決算額： 56,213 千円)	学校生活や学習面で配慮を要する児童生徒の支援を行うために、33人の生活支援員を配置しました。 [配置状況] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">配置人数</th> </tr> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>北吉井小学校</td><td>5 人</td><td>6 人</td></tr> <tr><td>南吉井小学校</td><td>7 人</td><td>7 人</td></tr> <tr><td>拝志小学校</td><td>2 人</td><td>2 人</td></tr> <tr><td>上林小学校</td><td>1 人</td><td>1 人</td></tr> <tr><td>川上小学校</td><td>6 人</td><td>5 人</td></tr> <tr><td>東谷小学校</td><td>1 人</td><td>1 人</td></tr> <tr><td>西谷小学校</td><td>3 人</td><td>3 人</td></tr> <tr><td>重信中学校</td><td>5 人</td><td>5 人</td></tr> <tr><td>川内中学校</td><td>2 人</td><td>3 人</td></tr> <tr><td>計</td><td>32 人</td><td>33 人</td></tr> </tbody> </table>	学校名	配置人数		平成 29 年度	平成 30 年度	北吉井小学校	5 人	6 人	南吉井小学校	7 人	7 人	拝志小学校	2 人	2 人	上林小学校	1 人	1 人	川上小学校	6 人	5 人	東谷小学校	1 人	1 人	西谷小学校	3 人	3 人	重信中学校	5 人	5 人	川内中学校	2 人	3 人	計	32 人	33 人	4	学校生活支援員の増員により、配慮を要する児童生徒の学校生活における補助、介助、安全確保など、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援を行うことで、更に特別支援教育・個別生活支援・少人数指導を充実させることができました。
学校名	配置人数																																					
	平成 29 年度	平成 30 年度																																				
北吉井小学校	5 人	6 人																																				
南吉井小学校	7 人	7 人																																				
拝志小学校	2 人	2 人																																				
上林小学校	1 人	1 人																																				
川上小学校	6 人	5 人																																				
東谷小学校	1 人	1 人																																				
西谷小学校	3 人	3 人																																				
重信中学校	5 人	5 人																																				
川内中学校	2 人	3 人																																				
計	32 人	33 人																																				
(2) 通級指導教室の充実 (決算額： — 千円)	言葉や学習、行動、対人関係などについて特に支援を必要とされる児童生徒に対して、指導を行なうために、通級指導教室を設置しています。 [設置状況] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">学級数</th> </tr> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>南吉井小学校</td><td>2 学級</td><td>2 学級</td></tr> <tr><td>川上小学校</td><td>1 学級</td><td>1 学級</td></tr> <tr><td>重信中学校</td><td></td><td>1 学級</td></tr> <tr><td>川内中学校</td><td>1 学級</td><td>1 学級</td></tr> <tr><td>計</td><td>4 学級</td><td>5 学級</td></tr> </tbody> </table>	学校名	学級数		平成 29 年度	平成 30 年度	南吉井小学校	2 学級	2 学級	川上小学校	1 学級	1 学級	重信中学校		1 学級	川内中学校	1 学級	1 学級	計	4 学級	5 学級	4	支援を必要とされる児童生徒に対して、その特徴的な状態ができる限り早い時期に改善されるように、指導を行ないました。 今年度より、市内全ての中学校に通級指導教室を設置し、より多くの生徒が指導を受けられるようになりました。															
学校名	学級数																																					
	平成 29 年度	平成 30 年度																																				
南吉井小学校	2 学級	2 学級																																				
川上小学校	1 学級	1 学級																																				
重信中学校		1 学級																																				
川内中学校	1 学級	1 学級																																				
計	4 学級	5 学級																																				

<p>(3) 巡回相談・教育相談事業の充実 (決算額： 1,342 千円)</p>	<p>巡回相談員が保育所(園)、幼稚園、小・中学校を訪問し、望ましい指導方法を教職員等と一緒に考えるなど、支援体制の整備及び充実を図りました。</p> <p>〔巡回相談実施状況〕</p> <table border="1" data-bbox="507 450 997 745"> <thead> <tr> <th>学校等種別</th> <th>実施回数</th> <th>相談人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所</td> <td>21回</td> <td>86人</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>15回</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>17回</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>4回</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57回</td> <td>204人</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔教育相談実施状況〕</p> <table border="1" data-bbox="507 795 997 1144"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>相談人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>7月25日~27日</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月29日~31日</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨時</td> <td>11月7日</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>11月16日</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>12月11日</td> <td rowspan="2">1人</td> </tr> <tr> <td>2月22日</td> </tr> </tbody> </table>	学校等種別	実施回数	相談人数	保育所	21回	86人	幼稚園	15回	52人	小学校	17回	51人	中学校	4回	15人	計	57回	204人		実施日	相談人数	第1回	7月25日~27日	32人	第2回	10月29日~31日	12人	臨時	11月7日	1人	11月16日	1人	12月11日	1人	2月22日	<p>4</p> <p>巡回相談は、専門的な知識をもつ相談員が教育現場を訪問し教職員等に子どもの理解や支援方法等について実践的な指導、助言を行うことで、配慮を要する幼児児童生徒の適切な支援に繋がりました。</p> <p>教育相談事業は、支援を要する幼児児童生徒及び保護者と面談することで状態を把握し、教育的ニーズに的確に対応し、個に応じた適切な指導、助言を行うことにより、子どもたちのよりよい学校生活の支援及び望ましい学びの場の決定に繋がることができました。</p>
学校等種別	実施回数	相談人数																																			
保育所	21回	86人																																			
幼稚園	15回	52人																																			
小学校	17回	51人																																			
中学校	4回	15人																																			
計	57回	204人																																			
	実施日	相談人数																																			
第1回	7月25日~27日	32人																																			
第2回	10月29日~31日	12人																																			
臨時	11月7日	1人																																			
	11月16日	1人																																			
	12月11日	1人																																			
	2月22日																																				
<p>【学識経験者意見】</p> <p>文科省が平成24年に実施した「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」の結果では、約6.5%程度の割合で通常の学級に在籍している可能性があることと示されました。配慮を要する児童生徒には、早期にきめ細やかな支援が必要で、今回、学校生活支援員が増員されたことは、東温市における特別支援教育の充実がより高まったと言えます。</p> <p>通級指導教室が市内全ての中学校に設置されたことも、大変評価できる事案です。自校に通級指導教室が無い場合、わざわざ時間をつくって他校に出向いていく手間が取れず、必要性を感じながらも回数が減ることもあったと思います。そうした不便さが解消されたことで、より多くの生徒が指導を受けられるようになったことは、生徒だけでなく保護者の安心感にもつながったと思います。</p> <p>専門的な知識や経験を有する巡回相談員の訪問や教育相談により、教員に発達障害のある児童生徒に対する適切な支援方法について、指導助言が行われていることが、実施状況の表からもうかがえます。今後も学校や教師への支援を状況に即して行ってほしいと思います。</p>																																					

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
(1) 学力向上、いじめ・不登校等に対応できる教職員の研修の充実 (決算額： 7千円)	東温市いじめSTOP子ども会議に合わせて市内小・中学校の全教職員を対象に児童生徒理解と生徒指導について研修会（講演会）を開催しました。 実施日 平成30年8月7日(火) 会場 中央公民館 参加者 200人	3	分科会での話し合い活動、講演会を通じて、いじめの未然防止やいじめを認知した場合の対処方法について教職員が共通理解を図ることができました。
(2) QU調査の実施と効果的な活用 (決算額： 1,374千円)	心理検査（Hyper-QU、Q-U）を市内全ての小・中学校で実施し、分析された調査結果をもとに児童生徒一人ひとりについて理解するとともに学級集団の状態を把握し、校内研修会等で教職員が情報共有、共通理解に努め、温かく好ましい学級集団の形成と人間関係づくりに取り組みました。	3	悩みを抱える児童生徒の早期発見、いじめの未然防止やより良い学級づくりに有効であり、学級集団の状況を把握・分析して、悩みを抱える児童生徒の対応につながりました。 今後も更に調査結果の分析力を高め、児童生徒の理解を図り、充実した指導により一層の効果을あげる事ができるよう努めていきます。

<p>(3) 東温市教職員研修会を通じた指導力の向上 (決算額： — 千円)</p>	<p>テーマごとに分かれて授業公開、研究協議、指導案づくり、レポート作成等を実施しました。</p> <p>実施日・会場・内容</p> <p>① 平成30年10月3日(水) 拝志小学校 防災教育</p> <p>② 平成30年11月13日(火) 上林小学校 見方・考え方</p> <p>③ 平成30年11月14日(水) 拝志小学校 プログラム教育</p> <p>④ 平成30年11月19日(月) 川上小学校 道徳教育</p> <p>参加者 200人</p>	<p>3</p>	<p>指導案づくりやレポート作成を通して、教職員の指導力・授業力の向上を図ることができました。</p>
<p>【学識経験者意見】</p> <p>教員の資質・能力と一言で言っても、あらゆる場面に対応した力が求められています。また、変化の激しい時代であるからこそ、教員に求められる資質能力を確実に身に付けることの重要性も高まっています。学力向上、いじめ・不登校等に対応できる能力も、今の学校生活において、最も必要とされる能力の一つです。</p> <p>平成25年に「いじめ防止対策推進法」が施行されました。いじめは、どの子どもにも起こりうることを念頭に、教員がいじめについての正しい知識と対応の仕方を身に付けることができるよう、今後も研修を重ねてほしいと思います。</p> <p>Hyper-QU、Q-U調査は、いじめの未然防止やよりよい学級づくりに有効ですが、継続して実施するには多くの予算も必要となります。そのため、他市では実施したくてもなかなか実施できず、研修会などで東温市が継続して実施していることを話すと、他市の学校からうらやましがられます。こうしたHyper-QU、Q-U調査の意義や利用価値を教職員一人ひとりがしっかりと受け止め、調査結果から子どもたちの心の様子を知り、より有効に活用してほしいと思います。</p> <p>教師である以上、授業力は最も身に付けておくべき力です。東温市教職員研修会等を継続して開催していることは、教師のより確かな指導力の向上につながっていると思います。</p>			

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																		
<p>(1) 特色ある給食の提供 (決算額： 22千円)</p>	<p>小学5年生以上の児童を対象に「ふれあいスクールランチコンテスト」を開催し、児童が考えた献立を学校給食に取り入れました。</p> <p>また、愛媛県だけでなく、全国各地の郷土料理や、子どもの日・七夕・十五夜・秋祭り等の行事食のほか、旬の野菜や魚を使った献立を積極的に取り入れました。</p> <p>食育だより、給食放送等で、伝統行事や伝統食の意義、自然や生活との関わり等について紹介しました。</p> <p>食を選択できる力を身につけることを目的に、7月と12月にはセレクト給食を実施しました。</p> <p>[メニュー数]</p> <table border="1" data-bbox="528 1128 1007 1429"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主 食</td> <td>74種</td> <td>88種</td> </tr> <tr> <td>副 食</td> <td>339種</td> <td>305種</td> </tr> <tr> <td>デザート類</td> <td>46種</td> <td>39種</td> </tr> <tr> <td>郷土料理・行事食</td> <td>46回</td> <td>32回</td> </tr> <tr> <td>リクエスト・セレクト給食</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	平成30年度	主 食	74種	88種	副 食	339種	305種	デザート類	46種	39種	郷土料理・行事食	46回	32回	リクエスト・セレクト給食	4回	4回	3	<p>学校給食の献立に「ふれあいスクールランチコンテスト」で受賞した児童が考えた献立や、地場産物・郷土料理等を取り入れることで、食への関心を高め、また地域の文化や郷土への愛着を深め、食に関する指導の充実を図ることができました。</p>
	平成29年度	平成30年度																			
主 食	74種	88種																			
副 食	339種	305種																			
デザート類	46種	39種																			
郷土料理・行事食	46回	32回																			
リクエスト・セレクト給食	4回	4回																			
<p>(2) 給食を教材とした食育の推進 (決算額： — 千円)</p>	<p>施設見学で、児童や園児が調理作業を見たり、給食ができるまでの話を聞いたり、模擬体験したりすることによって、給食に関わる人々への思いや苦勞を理解し、感謝の気持ちを育み、食の大切さを持てるよう働きかけをしました。</p> <p>さくら市場給食部会の生産者及び調理員と児童との交流給食会を実施しました。</p> <p>児童生徒を対象に、学校給食に使用するそら豆・ぶんど豆のさやむき、</p>	4	<p>栽培や収穫等を体験し、生産者や調理員と関わることで、食と食に関わる人々への感謝と思いやりを深め、食の大切さを伝えることができました。</p> <p>児童がプロスポーツ選手とスポーツでふれあい、給食を食べる機会をつくることで、コミュニケーション能力</p>																		

青パパイヤの栽培やケールの収穫体験を実施しました。

愛媛を拠点とするプロスポーツ選手とのふれあい給食会を実施しました。

〔残食率〕 (単位：%)

小学校	1学期	2学期	3学期	年間
平成29年度	2.1	2.3	2.3	2.2
平成30年度	1.6	1.4	1.7	1.6

中学校	1学期	2学期	3学期	年間
平成29年度	1.0	1.1	1.2	1.1
平成30年度	1.1	1.2	1.3	1.2

〔学校給食センター施設見学・試食〕

南吉井小学校2年生：107人

川上小学校2年生：71人

東谷幼稚園：9人

双葉保育所年長児：33人

南吉井小学校PTA：28人

重信中学校PTA：15人

北吉井幼稚園PTA：18人

その他：47人

(職場体験)

重信中学校2年生：9人

〔ふれあい給食会実施校〕

愛媛マンダリンパイレーツ

拝志小学校全校児童

愛媛FC

南吉井小学校5年生児童

の向上に取り組むことができました。

<p>(3) 地産地消の推進 (決算額： — 千円)</p>	<p>さくら市場給食部会との連携により地場産物の消費拡大を進めました。</p> <p>生産農家を取材した内容を地産地消通信で情報発信したほか、献立表には食材の産地を表記し周知するなど、「地産地消の見える化」を図りました。</p> <p>〔地場産物活用状況〕</p> <table border="1" data-bbox="512 689 1007 840"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内産</td> <td>78.6%</td> <td>99.0%</td> </tr> <tr> <td>(東温市産)</td> <td>(40.1%)</td> <td>(44.6%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(平成 30 年度県平均 40.8%)</p>		平成 29 年度	平成 30 年度	県内産	78.6%	99.0%	(東温市産)	(40.1%)	(44.6%)	<p>4</p>	<p>さくら市場給食部会生産者や地元企業等の協力を得て、東温市産の食材をレトルト加工や冷凍加工し、地元野菜を年間通して使用可能とし、地元食材の使用率を高めました。</p> <p>県内産食材使用率は、平成 22 年度以降続けて県下 1 位となっています。</p>
	平成 29 年度	平成 30 年度										
県内産	78.6%	99.0%										
(東温市産)	(40.1%)	(44.6%)										

【学識経験者意見】

学校給食によって学校に行く意欲や、授業に取り組む意欲の向上が図られること、また、園児・児童・生徒にとって、学校の時間割の中でも、一番人気の高い「食育」が給食であることを考えると、食の大切さを伝えることはとても重要です。給食の残食率が1%台という結果からすると、その取組については高い水準を示していると思います。消費者庁消費者政策課の食品ロス削減関係参考資料（平成 30 年 6 月 21 日版）によると、日本の自給率がカロリーベースで 38%しかない現状で、日本の食品廃棄物等が年間 2842 万 t（そのうち食品ロスが 646 万 t）と世界トップクラスと言われている現状から考えても、ロスを出さないということはとても大切なことです。

また、県内産食材使用率が、平成 22 年度以降続けて県下 1 位という結果についても、SDGs（持続可能な開発目標）を考える上で、とても評価すべきことだと思います。

残食率を下げることや、地場産の食材使用率の上昇も、食育を進めていくことにおいて大切な数字だと思いますが、それ以上に園児・児童・生徒にとって、「美味しい」・「楽しみ」・「食べてみたい」給食ということが、上記のことを進めていくにおいても一番基本的なことであるということを忘れてはいけないと思います。そのことに立ち返れば、児童生徒が食べてみたいリクエスト・セレクト給食の回数や、「ふれあいスクールランチコンテスト」のような児童が考えた献立の採用は、もっと拡大する余地があると思います。その美味しさ・楽しさが園児・児童・生徒に伝わり、その上において食に興味関心を持ち、食の大切さが伝わっていくというのが、一番自然な「食育」の流れだと思います。

地元企業等の協力を得て、東温市産の食材のレトルト加工や冷凍加工という技術の活用は、東温市産の食材の活用において、とても有効な手段だと思います。また、民間企業が取り入れている「契約農家による栽培」などを参考にすることも有効だと思います。東温市産の食材が、安心安全であるということが前提条件にはなりますが、給食センターでは、大量の食材を限ら

れた時間で調理し給食の納入時間を遵守する必要がある、ということを考えれば、品質や規格をある一定基準以上の物に統一するという事も、同時に考えていかなければならない課題だと思います。

重点施策 10	いじめ・不登校等への組織的対応
---------	-----------------

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																		
(1) 東温市いじめ防止基本方針の具体性のある見直し (決算額: — 千円)	<p>「東温市いじめ防止等のための基本方針」に基づき、関係者が連携を図りながら、いじめの未然防止、早期発見、早期解決のための取り組みを総合的かつ効果的に推進しました。</p> <p>また、基本方針に関して国、県や他市町から情報収集し、見直しについて検討しました。</p> <p>〔不登校・いじめ認知の推移〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年 度</th> <th style="width: 30%;">不登校児童生徒数</th> <th style="width: 50%;">いじめ認知件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>20人</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>20人</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>28人</td> <td>99件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>31人</td> <td>88件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>28人</td> <td>84件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※不登校児童生徒数については、年間30日以上の欠席者</p>	年 度	不登校児童生徒数	いじめ認知件数	平成26年度	20人	13件	平成27年度	20人	23件	平成28年度	28人	99件	平成29年度	31人	88件	平成30年度	28人	84件	3	<p>いじめを絶対に見逃さないという意識を持ち、児童生徒が悩み事を相談できる体制づくりに努め、事前に対処することで、前年度より認知件数が減ってきており、いじめの未然防止と解消に向けての手立てが図られていると考えられます。</p> <p>不登校の児童生徒数については、減少しているもののまだ多いため、スクールソーシャルワーカーの活用や相談体制の拡充が必要と考えます。</p> <p>引き続き、いじめの未然防止、早期発見、対処等の取組について組織として実効的に対応できるように基本方針の見直しと教員のスキル向上に努めていきます。</p>
年 度	不登校児童生徒数	いじめ認知件数																			
平成26年度	20人	13件																			
平成27年度	20人	23件																			
平成28年度	28人	99件																			
平成29年度	31人	88件																			
平成30年度	28人	84件																			

<p>(2) ハートなんでも相談員の配置及び活用 (決算額: 4,455千円)</p>	<p>小学校(大規模校)、川内中学校にそれぞれ1名及び重信中学校に2名を配置し、いじめ・不登校などの悩みを抱える児童生徒の支援に取り組みました。小規模な小学校への対応として、スクール・ソーシャル・ワーカーが各学校を訪問し相談を実施しました。</p> <p>[相談件数]</p> <table border="1" data-bbox="507 645 995 943"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北吉井小学校</td> <td>626件</td> <td>810件</td> </tr> <tr> <td>南吉井小学校</td> <td>405件</td> <td>637件</td> </tr> <tr> <td>川上小学校</td> <td>548件</td> <td>448件</td> </tr> <tr> <td>重信中学校</td> <td>1,271件</td> <td>1,097件</td> </tr> <tr> <td>川内中学校</td> <td>604件</td> <td>869件</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	平成29年度	平成30年度	北吉井小学校	626件	810件	南吉井小学校	405件	637件	川上小学校	548件	448件	重信中学校	1,271件	1,097件	川内中学校	604件	869件	<p>3</p> <p>不登校や、教室に行きづらい傾向にある児童生徒等の未然防止、早期発見及び解決を図るため、児童生徒及び保護者の悩みや相談に丁寧に応じることで、不安を解消するとともに、児童生徒の状況の改善に向け、学校や家庭と連携しながら取り組むことができました。</p>
学校名	平成29年度	平成30年度																		
北吉井小学校	626件	810件																		
南吉井小学校	405件	637件																		
川上小学校	548件	448件																		
重信中学校	1,271件	1,097件																		
川内中学校	604件	869件																		

【学識経験者意見】

「東温市いじめ防止等のための基本方針」に基づき、いじめを絶対に見逃さないという意識を高め続けていることは、いじめの未然防止と解消に向けての大きな力となります。ただ、ここ1、2年の数字の変化で良好な傾向にあると判断するのは尚早だと思います。

いじめへの組織的な対応としては、市内各校がそれぞれの学校の実態に即した「いじめ防止基本方針」を策定し、ホームページに掲げています。どの学校も校長のリーダーシップのもと、全教職員による指導体制を確立し、いじめ防止と解決に取り組んでいることは、子ども一人ひとりを大切にされた学校経営が行われていると考えられます。今後も「いじめは、どの学校にも、どの子にも起こりうる」という意識を持ち、安全・安心な学校づくりに取り組んでほしいと思います。

「ハートなんでも相談員」は、愛媛県教育委員会が、非行や不登校などの早期発見と未然防止に努め、不登校児童生徒数を減少させるという意図で実施している事業で、児童生徒や保護者の不安解消に大きく貢献していると思います。

相談件数の表は、総数が示されていますが、児童生徒と保護者等の相談件数を分けると、学校ごとの特徴がより分かりやすくなると思います。また、各校の相談件数と児童生徒数を比べてみると、その比率がかなり大きな差となって表れます。この表を深く掘り下げていくことで、子どもたちの実態に迫ることができ、子どもたちの不安解消につながると思います。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																								
<p>(1) 補導活動の充実と有害環境対策の推進 (決算額： 1,129 千円)</p>	<p>市が委嘱した 64 名の地域推薦や小中学校の生徒指導主事等で構成する補導委員により、年間を通して補導活動や不良図書回収などの環境浄化活動を実施しました。</p> <p>また、少年健全育成推進協議会や青少年問題等協議会と連携を図り、情報交換を行いました。</p> <p>〔補導活動の状況〕</p> <table border="1" data-bbox="507 797 1000 1189"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間補導回数</td> <td>33 回</td> <td>34 回</td> </tr> <tr> <td>延べ活動人数</td> <td>672 人</td> <td>730 人</td> </tr> <tr> <td>不良図書回収</td> <td>585 冊</td> <td>752 冊</td> </tr> <tr> <td>内訳(不良図書)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> (一般図書)</td> <td>291 冊</td> <td>351 冊</td> </tr> <tr> <td>(ビデオ・DVD)</td> <td>64 本</td> <td>162 本</td> </tr> <tr> <td>(その他)</td> <td>0 部</td> <td>0 部</td> </tr> </tbody> </table>		平成 29 年度	平成 30 年度	年間補導回数	33 回	34 回	延べ活動人数	672 人	730 人	不良図書回収	585 冊	752 冊	内訳(不良図書)			(一般図書)	291 冊	351 冊	(ビデオ・DVD)	64 本	162 本	(その他)	0 部	0 部	3	<p>補導委員が定期的に地域に密着した補導活動を行うことにより、喫煙、飲酒、深夜徘徊等の不良行為や被害の防止につながっています。</p> <p>また、少年健全育成推進協議会等の関係機関と連携を図りながら、意見交換や情報共有を行い、非行防止等に取り組むことで、青少年の健全育成の推進に貢献しています。</p>
	平成 29 年度	平成 30 年度																									
年間補導回数	33 回	34 回																									
延べ活動人数	672 人	730 人																									
不良図書回収	585 冊	752 冊																									
内訳(不良図書)																											
(一般図書)	291 冊	351 冊																									
(ビデオ・DVD)	64 本	162 本																									
(その他)	0 部	0 部																									
<p>(2) 教育相談活動の充実 (決算額： 4,663 千円)</p>	<p>中央公民館、川内公民館にそれぞれ 1 名の教育相談員を配置し、いじめ・不登校等に関する相談を受け、内容に応じて関係機関と連携を図り、的確な対応に努めました。</p> <p>〔相談件数〕</p> <table border="1" data-bbox="507 1503 1000 1805"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来所相談</td> <td>21 件</td> <td>25 件</td> </tr> <tr> <td>電話相談</td> <td>42 件</td> <td>28 件</td> </tr> <tr> <td>訪問相談</td> <td>6 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>メール相談</td> <td>0 件</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69 件</td> <td>59 件</td> </tr> </tbody> </table>		平成 29 年度	平成 30 年度	来所相談	21 件	25 件	電話相談	42 件	28 件	訪問相談	6 件	2 件	メール相談	0 件	4 件	計	69 件	59 件	3	<p>関係機関と連携を図りながら教育相談に取り組んだ結果、来所相談件数は昨年から増加しましたが、電話相談件数は昨を下回りました。</p> <p>近年、メール、ライン等の情報ネットを利用したいじめ・不登校といった問題が増加しており、本市においても引き続き相談体制の充実を図り、適切な指導に努めていきます。</p>						
	平成 29 年度	平成 30 年度																									
来所相談	21 件	25 件																									
電話相談	42 件	28 件																									
訪問相談	6 件	2 件																									
メール相談	0 件	4 件																									
計	69 件	59 件																									

【学識経験者意見】

補導委員による補導活動は、東温市の夏のビッグイベントである観月祭花火大会でも重点的に行われており、それらは、地域住民の方々のボランティア活動によって支えられていることを考えると、とても有意義な活動です。ボランティア活動のため、委員の方々に過度の負担を掛けることは、本末転倒となるため無理は言えませんが、補導活動の日時が、ある程度固定化されているため、深夜徘徊等の不良活動をする青少年側から考えると、その日時だけおとなしくしているということも考えられます。年間を通して、数回程度、曜日や時間帯を変更しての補導活動を試験導入すれば、効果的な補導活動が展開できるのではないかと思います。

また不良図書回収の実績を見ると、ビデオ・DVD という数字が急激に伸びています。これらはインターネットなどの普及を通じて、コンテンツのデジタル化が急速に進んでいることを顕著に表しています。それらに対応していく手段や方法を思考していくことの必要性も強く感じます。ある調査によれば、中学生の約2/3がスマホを使用していることから、青少年がトラブルに巻き込まれるのを事前に防ぐためにも、スマホのフィルタリングサービスの周知徹底も必要不可欠と言えます。

教育相談活動の充実では、「ネットを利用したいじめ・不登校といった問題が増加している。」ということで時代を反映した結果となっています。メール相談件数が、昨年度の0件から4件と増えており、子供たちや保護者からの相談の手段としても、インターネット環境（SNSなど）を利用したものが、これから急増していくものと予想されます。それら受け皿の整備についても予算措置を含め、積極的な導入を期待します。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価																																																																															
(1) 家庭教育学級の開催 (決算額： 700 千円)	<p>各学校・幼稚園に家庭教育学級運営委員会を設け、それぞれが家庭の在り方を見つめ直し、基本的なしつけや心の教育、家族の絆を深めることなど、家庭教育力の向上を図るための学習を実施しました。</p> <p>〔実施状況〕</p> <table border="1" data-bbox="507 701 1000 1489"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学級名</th> <th colspan="2">平成 29 年度</th> <th colspan="2">平成 30 年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>北吉井小</td><td>5</td><td>75</td><td>4</td><td>76</td></tr> <tr><td>南吉井小</td><td>4</td><td>349</td><td>4</td><td>101</td></tr> <tr><td>拝志小</td><td>5</td><td>445</td><td>4</td><td>310</td></tr> <tr><td>上林小</td><td>6</td><td>275</td><td>6</td><td>249</td></tr> <tr><td>川上小</td><td>3</td><td>65</td><td>3</td><td>50</td></tr> <tr><td>東谷小</td><td>5</td><td>305</td><td>5</td><td>323</td></tr> <tr><td>西谷小</td><td>3</td><td>109</td><td>3</td><td>135</td></tr> <tr><td>重信中</td><td>4</td><td>872</td><td>4</td><td>862</td></tr> <tr><td>川内中</td><td>4</td><td>676</td><td>5</td><td>656</td></tr> <tr><td>重信幼</td><td>5</td><td>339</td><td>4</td><td>212</td></tr> <tr><td>北吉井幼</td><td>5</td><td>133</td><td>5</td><td>151</td></tr> <tr><td>川上幼</td><td>3</td><td>180</td><td>5</td><td>242</td></tr> <tr><td>東谷幼</td><td>4</td><td>113</td><td>5</td><td>124</td></tr> <tr><td>西谷幼</td><td>4</td><td>87</td><td>3</td><td>58</td></tr> </tbody> </table>	学級名	平成 29 年度		平成 30 年度		回数	参加人数	回数	参加人数	北吉井小	5	75	4	76	南吉井小	4	349	4	101	拝志小	5	445	4	310	上林小	6	275	6	249	川上小	3	65	3	50	東谷小	5	305	5	323	西谷小	3	109	3	135	重信中	4	872	4	862	川内中	4	676	5	656	重信幼	5	339	4	212	北吉井幼	5	133	5	151	川上幼	3	180	5	242	東谷幼	4	113	5	124	西谷幼	4	87	3	58	3	<p>家庭教育学級の参加者数には、学校間で差異があるほか、児童・生徒数の多い学校において参加者数が少ない傾向にあり、募集方法や、より多くの人が参加できるように活動内容の検討が必要です。</p> <p>また、各学級では、事業内容に偏りがあることから、年度末に実施している情報交換会で昨年度はワークショップを取り入れました。</p> <p>参加者には各グループで活発に意見を出してもらい、当事者意識が高まったと感じています。</p>
学級名	平成 29 年度		平成 30 年度																																																																															
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																														
北吉井小	5	75	4	76																																																																														
南吉井小	4	349	4	101																																																																														
拝志小	5	445	4	310																																																																														
上林小	6	275	6	249																																																																														
川上小	3	65	3	50																																																																														
東谷小	5	305	5	323																																																																														
西谷小	3	109	3	135																																																																														
重信中	4	872	4	862																																																																														
川内中	4	676	5	656																																																																														
重信幼	5	339	4	212																																																																														
北吉井幼	5	133	5	151																																																																														
川上幼	3	180	5	242																																																																														
東谷幼	4	113	5	124																																																																														
西谷幼	4	87	3	58																																																																														

<p>(2) 文化活動推進事業 (決算額： 733 千円)</p>	<p>市民を対象に、豊かな心づくりと地域文化の振興を図るため、東温市民大学実行委員会へ委託して市民大学を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月24日(日) 坊っちゃん劇場 ・ 講演：「鳴門の第九と国際交流」 亀井俊明 名誉会長 (全日本「第九を歌う会」) ・ 観劇：ミュージカル『よろこびのうた』 ・ 受講者：361人 <p>市民や文化団体の発表の場として、文化協会の主催により、文化祭を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月27日(土) ナイトフェスティバル(坊っちゃん劇場) 内容：コメディミュージカル 「土鍋売りからお侍」 ：ショートミュージカル 「よろこびのうた」 出演：斎藤かおる、村中弘和ほか 来場者：約450人 ・ 10月26日(金)～28日(日) 川内会場(川内公民館) 来場者：約500人 ・ 11月2日(金)～4日(日) 重信会場(中央公民館) 来場者：約1,500人 	<p>3</p>	<p>市民大学には361名の参加があり、関心の高さが伺えます。</p> <p>しかし、例年完売していた受講券の販売が約82%にとどまり、販売方法を検討する必要があると考えます。</p> <p>文化祭は、文化協会員だけでなく児童生徒、一般の方からの作品出展もあり、展示場所が足りないほどの賑わいがありました。</p> <p>また、日曜日を中心に多数の来場者があり盛況でした。</p>
---------------------------------------	--	----------	--

(3) 学校・家庭・地域連携推進事業の推進

(決算額: 1,563 千円)

次代の東温市を担う青少年に豊かな心と生きる力を育み、心身ともにたくましい人間として成長していくことができるよう、体験学習を中心としたわんぱく広場を実施しました。

また、放課後の子どもの居場所づくりとして放課後わくわく教室を新設しました。

〔重信わんぱく広場・川内わんぱく広場〕

回	開催内容	実施場所
1	重信開講式	川内公民館
2	川内開講式	中央公民館
3	合同皿ヶ嶺トレッキング	皿ヶ嶺
4	合同科博でサイエンスショー	県総合科学博物館
5	合同なめがけサマーキャンプ	滑川
6	重信エネルギー講座	中央公民館
7	川内キッズ金融塾	川内公民館
8	重信郷土料理教室	中央公民館
9	川内郷土料理教室	川内公民館
10	合同防災デイキャンプ	中央公民館
11	川内わくわくゆめ教室	川内公民館
12	重信の「味」つづろ「らみ」	中央公民館
13	川内史跡巡り	川内地区
14	重信電車に乗って松山散策	松山市内

〔放課後わくわく教室〕

開催内容	実施場所
巨大シャボン玉づくり、演劇、工作等	北吉井小学校 年間15回実施

3

平成30年度から学校・家庭・地域推進事業に取り組んでおり、わんぱく広場は、重信わんぱく広場及び川内わんぱく広場として、拡充して実施しました。

また、平成30年度は、放課後における子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、豊かな体験・交流活動を充実させるため、新規に北吉井小学校で放課後わくわく教室を実施しました。

体験学習や教育キャンプなどをおし、子どもたちに、各学校や年代の枠を超えた交流や普段の生活の中では体験できない、貴重な経験をすることができるようになりました。

<p>(4) J r. リーダー 育成講座の推進 (決算額： 180 千円)</p>	<p>仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人ひとりの自己教育力の確立を目指し、新しい時代を切り拓く積極的な心を育て、次代のリーダーとなるよう事業を実施しました。 〔J r. リーダー養成講座〕</p> <table border="1" data-bbox="507 501 995 943"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>開催内容</th> <th>実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>開講式（護摩炊きとピザ作り体験）</td> <td>川内公民館 井内地区</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>主権者教育</td> <td>中央公民館</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>国際理解キャンプ</td> <td>なめがわ清流の森</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>演劇ワークショップ</td> <td>坊っちゃん劇場</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>スキー・スノーボード体験</td> <td>久万スキーランド</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>成人式接遇体験</td> <td>中央公民館</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>閉講式（主権者教育Ⅱ）</td> <td>中央公民館</td> </tr> </tbody> </table>	回	開催内容	実施場所	1	開講式（護摩炊きとピザ作り体験）	川内公民館 井内地区	2	主権者教育	中央公民館	3	国際理解キャンプ	なめがわ清流の森	4	演劇ワークショップ	坊っちゃん劇場	5	スキー・スノーボード体験	久万スキーランド	6	成人式接遇体験	中央公民館	7	閉講式（主権者教育Ⅱ）	中央公民館	<p>3</p> <p>体験学習などをおして、中学生に普段の生活の中では体験できない、貴重な機会を提供することができました。</p> <p>平成30年度は、新たに国際理解キャンプや成人式接遇体験を実施。国際理解キャンプでは、外国人とのコミュニケーションの取り方を勉強以外の部分で学ぶことができ、成人式接遇体験では、受講生が成人式を迎えた際に中心人物として関わってもらえるよう、接遇体験をしたり、成人式の流れを直接感じてもらいました。</p> <p>今後も次代のリーダーが育つような講座の実施に努めていきます。</p>
回	開催内容	実施場所																								
1	開講式（護摩炊きとピザ作り体験）	川内公民館 井内地区																								
2	主権者教育	中央公民館																								
3	国際理解キャンプ	なめがわ清流の森																								
4	演劇ワークショップ	坊っちゃん劇場																								
5	スキー・スノーボード体験	久万スキーランド																								
6	成人式接遇体験	中央公民館																								
7	閉講式（主権者教育Ⅱ）	中央公民館																								

<p>(5) 滑川野外活動研修施設の有効活用 (決算額： 508 千円)</p>	<p>心身ともに調和のとれた健全な子どもの健全育成を図るため、滑川野外活動研修施設を運営することにより、キャンプなどの野外体験活動に利用していただきました。</p> <p>〔施設利用者数〕</p> <table border="1" data-bbox="507 504 997 649"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>1,860 人</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年度</td> <td>2,249 人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	利用者数	平成 29 年度	1,860 人	平成 30 年度	2,249 人	<p>4</p>	<p>ホームページでの周知やマスコミ取材、口コミなどによって、年々利用者が増加しています。</p> <p>一方で、施設が宿泊できないことや、現在のシャワーのみの利用における問題点など、利用者ニーズに合った運営方法について検討する必要があります。</p>
年 度	利用者数								
平成 29 年度	1,860 人								
平成 30 年度	2,249 人								

【学識経験者意見】

(1) 子供たちの健全な育成においては、学校や地域の役割も大きいですが、それ以上に家庭の担う役割は最も大切です。その意味において家庭教育力の向上を図るという活動は、有意義であると思います。参加人数においては各所・各園・各校においてばらつきがあり、多くの参加者によって、より多くの家庭に波及効果がある活動が望ましいと思います。その一方で、この活動に参加することによって保護者同士のつながりが生まれ、そのつながりによって、より良い家庭教育が展開される可能性もあります。波及効果範囲を検証するにあたって、参加者数の多さに着目することも大切であると思いますが、活動において「より良い保護者のつながりや連携を生み出せる活動」ということに重点を置いて考えることも、もう一つの視点として重要であると思います。そのことにより、より良いPTA活動の実践や、より良い地域活動に発展する可能性もあります。その視点を十分に考慮して、有意義な情報交換会の開催につなげていただきたい。

(2) 愛媛県 20 市町の中で、「坊っちゃん劇場」が市内にあるということは、他のどこにもない東温市の優位性であると思われます。そのことを中軸にして文化活動推進事業を展開していくということが、東温市の強みであり独自性であると思います。アートヴィレッジとうおん構想とのコラボレーションを含め、多様な活動が拡大展開されることを強く望みます。

(3) 次世代を担う青少年の健全な育成は、将来の東温市を支える、また支えてもらうために非常に重要な施策だと思います。その活動の中で東温市をもっと好きになる、好きになってもらう工夫をさらに取り入れていただきたい。ある講演会の中で、新しく変わる部活動の新部長・新副部長を対象に、夏休みの後半に宿泊合宿を行い、様々な体験を通してそれぞれのリーダー像について考える次世代の地域のリーダーを学校と連携して育てるプログラムというのが、愛知県 NPO 法人アスクネットの取り組みプログラムの一つの例とし

で紹介されてました。このような取組はとても興味深く、東温市でも導入可能なプログラムではないかと思われます。また、資料においては、それぞれの活動の累積参加人数等も資料の中にあれば、よりの確な意見を創造できたと思います。

(4) Jr. リーダー育成講座はとても興味深い施策です。上記と同じ観点から、次世代を担う青少年の健全な育成は、未来の東温市にとって必要不可欠です。参加人数や活動内容のさらなる拡充と充実を望みます。

(5) 滑川野外活動研修施設においては、恵まれた環境の中で、日常生活とは異なる体験や活動ができる可能性を大いに秘めています。入浴やシャワー施設の充実等の課題は山積していますが、東温市の素晴らしい自然を体験できるという立地（滑川溪谷の龍の腹等）は、この施設の独自性であり、強みです。課題としては、アクセスにおいて道路が大変狭く、場所によっては車の離合が難しい場所もあるということです。道路拡張には多大な予算がかかるため、同じ道路を時間帯によって柔軟に一方通行にし、運転者が恐怖感を感じないアクセス道路にするというなどの工夫も必要であると思います。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
<p>(1) 研修会等の開催実施 (決算額： 2,935千円 内、人権教育協議会補助金 2,855千円)</p>	<p>① 人権講座 市内の保育所、幼稚園、小・中学校、 県立学校の教職員、保護者及び協議会 関係者等の参加を得て、中央公民館に おいて学校の実践報告や講演会を 実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月24日(金) ・演題 「あきらめない心」 ・講師 伊藤 真波 ・参加者数：350人 <p>② 人権を語る集い 市民等並びに関係機関・各種団体 の参加のもと、中央公民館において 人権劇を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年12月9日(日) ・演題 「一人ひとりが輝ける 社会づくり」 ・講師 村松 つね ・参加者数：153人 <p>③ 人権ゼミナール 2回の人権ゼミナールを実施し ました。</p> <p>〔第1回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月22日(金) ・演題：「子どもと人権」 ・講師 石川 正一郎 ・参加者数：121人 <p>〔第2回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月21日(金) ・演題：「精神に障がいのある方 の暮らしについて」 ・講師 井上 治美 ・参加者数：55人 	3	<p>同和問題をはじめとする様々な人権問題が生じている中で、テーマを絞り込み講演会や研修会等を実施し、参加者の理解を深めることができました。また、差別の現実を学び学習することができました。</p> <p>今後も、より一層、人権・同和教育の研修会や実践交流会等が、部落問題をはじめあらゆる人権問題の解決に向けた研修になるよう努めます。</p>

<p>(2) 人権啓発活動の充実</p>	<p>「人権を尊重するまちづくり～えがおいっぱいのもちへ～」を推進・啓発するために、「日常生活における人権意識の高揚と実践～外国人と人権～」を取上げ、言語、宗教、習慣などによる違いから、職場や学校、地域での差別が起きないことを願い、全戸に人権啓発リーフレットを配布しました。</p> <p>また、事業所等における人権・同和教育の推進のため、人権擁護委員と連携して市内6企業の訪問を実施しました。</p>	<p>3</p>	<p>人権意識を高めるために人権啓発リーフレットを発行し、全戸へ配布しました。</p> <p>企業訪問では、職場内の人権問題、企業の社会的責任、企業内人権教育の在り方等について意見交換を行ないました。</p> <p>今後も引き続き、市民並びに市内事業者等への人権啓発に取り組めます。</p>
----------------------	---	----------	---

【学識経験者意見】

人権教育の推進においては、同和問題（部落差別）も重要な取組ではありますが、それに加えて、価値の多様化された現代社会において、差別を受ける対象者となりやすいマイノリティーは、障がい者（精神障がい者を含む）、LGBTなどの性的マイノリティー、犯罪後の更生者、外国人、感染病患者、各種依存症患者、少数民族、路上生活者など多岐にわたる多様な人々がいます。それぞれの領域において、東温市民の興味関心が高いものや低いものがあるとは考えられますが、平成28年4月1日から障害者差別解消法が施行されたことなどを考慮すると、これから多様な価値を認めていくダイバーシティ（多用な人材の積極的活用）社会の構築を真剣に考えなければならない時代を迎えています。東温市においても、外国人との共生社会、また、AIの飛躍的な進化による、ロボットとの共生社会への歩みが進むと思われまます。

これらに対する差別が、人間として許されないということを周知し、啓発し、教育していくということは、東温市においてとても大切な施策の一つであると思います。これまで行われてきた同和問題（部落差別）への取組に加えて、ダイバーシティ社会における、多岐にわたる多面的な「人権教育の推進」に取り組んでいただきたい。

人権意識を高めるためのリーフレット作成については、啓発や周知において、一定の効果が無かったとは言わないが、それらが各家庭において積極的に活用されているのかを考察する必要があります。配布するだけに留まらず、どうすれば各家庭において有効に活用されるのか、その費用対効果を考えたアイデア溢れるリーフレットの作成が強く望まれます。

人権擁護委員による企業訪問に加えて、就職や転職において、能力以外での就職差別を受けた場合に、気軽に相談できる体制づくりも必要です。さらに言えばそれらは、職場におけるパワハラやセクハラ、マタハラ等の相談にも対応できることが望まれます。

親や保護者による幼児・児童への虐待のニュースが世の中を賑わせています。それら、小さい子供たちの小さなSOSのサインを見逃さない、大人が気付いて助けられる社会にする取

組に関しても、福祉部門とも連携を図りながら早急に対応を進めていく必要性を強く感じます。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価												
<p>(1) 市立図書館資料の充実とサービスの向上 (決算額：8,686千円)</p>	<p>来館者数 96,725 人の内、貸出利用者数は 62,634 人で(前年 60,626 人)2,008 人増加し、貸出冊数も 190,001 冊(前年 184,425 冊)と 5,576 冊増加しました。</p> <table border="1" data-bbox="475 607 995 792"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>貸出者数</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 28 年度</td> <td>57,571 人</td> <td>178,693 冊</td> </tr> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>60,626 人</td> <td>184,425 冊</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年度</td> <td>62,634 人</td> <td>190,001 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>中予圏域での図書館利用が 29 年度から開始され、延べ 583 人のカード発行を行いました。</p> <p>学校図書館との連携では、利用者カードの共同利用や移動図書館車の配車を行っています。</p> <p>また、市内小中学校に図書館支援員を派遣し、学校図書館の整備方法などについて指導を行いました。</p> <p>小学校 7 校・中学校 2 校 各校 2 回 計 18 回実施</p>	年 度	貸出者数	貸出冊数	平成 28 年度	57,571 人	178,693 冊	平成 29 年度	60,626 人	184,425 冊	平成 30 年度	62,634 人	190,001 冊	4	<p>新刊図書の新刊購入等により資料提供サービスを図ることができました。</p> <p>市民の暮らしとまちづくりに役立つ生涯学習の拠点施設として機能するように、サービスの改善や充実に努めます。</p> <p>中予圏域での図書館利用が定着してきており、利用者の増加つながっています。</p> <p>また、子どもの時から読書習慣を身につけていただくため、学校図書館との連携を積極的に図りました。</p>
年 度	貸出者数	貸出冊数													
平成 28 年度	57,571 人	178,693 冊													
平成 29 年度	60,626 人	184,425 冊													
平成 30 年度	62,634 人	190,001 冊													

<p>(2) おはなし会の実施、おはなしボランティアの育成、読書会の支援、各種講座等の実施 (決算額: 390 千円)</p>	<p>4月23日の子ども読書の日に因んだイベントで、子どもたちが図書館に足を運んでもらえるように、図書館ボランティアの協力を得て、子ども向けのイベントを開催しました。</p> <table border="1" data-bbox="475 450 995 595"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども読書の日フェスティバル</td> <td>平成30年4月21日 平成30年4月22日</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table> <p>新たに、おはなしボランティアとして活躍できる人材の育成を目的とし、全4回の講座を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="475 797 995 969"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読み聞かせボランティア養成講座</td> <td>平成30年6月2日、9日、16日、23日</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>講師を迎え、0歳から1歳までの親子を対象に、絵本の選び方や読み聞かせのコツなどを指導してもらいました。</p>	事業名	実施日	参加者数	子ども読書の日フェスティバル	平成30年4月21日 平成30年4月22日	23人	事業名	実施日	参加者数	読み聞かせボランティア養成講座	平成30年6月2日、9日、16日、23日	20人	<p>3</p> <p>子どもと本を結ぶための活動として「子ども読書の日フェスティバル」「はじめてのえほん講座」等の各種事業が定着してきています。</p> <p>「読み聞かせボランティア養成講座」を実施して、ボランティア人材の育成を行いました。</p> <p>子ども読書活動の推進を図るために、図書館や児童館などでの読み聞かせを一層充実していきます。</p>
事業名	実施日	参加者数												
子ども読書の日フェスティバル	平成30年4月21日 平成30年4月22日	23人												
事業名	実施日	参加者数												
読み聞かせボランティア養成講座	平成30年6月2日、9日、16日、23日	20人												

【学識経験者意見】

図書館利用については、年度を追う毎に貸出人数・貸出冊数共に増加傾向であり、有効な利用が図られています。事業の実施状況報告においては、小中学生・高校生や10歳毎の、各年代別に貸出者数や貸出数を出していただくと、傾向などをよりの確に把握することが可能ではないかと思えます。また、移動図書館車の貸出人数・貸出冊数などの報告もあれば、よりの確な意見を考察できるのではないかと思えます。さらに、図書館に設置されている天体観測用望遠鏡の、より活発な利用を考案すれば、本だけでなく科学的な興味を持った子供たちの利用も促進されるのではないかと思えます。

子供の読書活動推進を図ることにおいて、読み聞かせ活動は、読書習慣を身に付けることへの「初めの一歩」となり、とても重要です。そのボランティアの養成や子供向けのイベントの開催は、とても興味深いものです。より有意義な活動とするためには、そこに関わる人たちの工夫やアイデアが大切であり、その結果、さらなる参加者数の増加に繋がると思えます。例えば、園児のいる幼稚園や保育園のイベントに合わせて、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんに読み聞かせのポイント等を、幼稚園教諭・保育士と一緒に、実践を通して教える活動をするなどすれば、対象者も飛躍的に多くなり、日々の生活の中に、より取り入れやすいものになっていくのではないのでしょうか。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価						
<p>(1) 歴史・民俗資料の調査、収集、保存、展示等の充実 (決算額: — 千円)</p> <p>歴史民俗資料館別館(仮称)整備事業 (決算額: 9,720千円)</p>	<p>常時、歴史・民俗資料の収集に努めており、現在収蔵資料数は約15,000点(文書約10,000点、民具等約5,000点)となっております。</p> <p>展示内容は、常設展示、企画展示(年3回)、ロビー展示(年4回)を開催しました。</p> <p>〔常設展示〕 「東温市の歴史」</p> <p>〔企画展示〕 ① 「昭和のつねひごろ」 ② 「記録する」 ③ 「昭和の衣食住」</p> <p>〔ロビー展示〕 ① 「化粧と結髪」 ② 「明りの歴史」 ③ 「かぶり物事情」 ④ 「稲わら細工展」</p> <p>老人保健施設への民具等パネルの貸出</p> <table border="1" data-bbox="497 1370 979 1809"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>2,936 人 (内祝日入館者数) 149 人 開館日数 277 日 1日平均 10.6 人</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年度</td> <td>2,521 人 (内祝日入館者数) 154 人 開館日数 279 日 1日平均 9.0 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成 29 年度概算設計を行い、平成 30 年度は実施設計を行いました。</p>	年 度	入館者数	平成 29 年度	2,936 人 (内祝日入館者数) 149 人 開館日数 277 日 1日平均 10.6 人	平成 30 年度	2,521 人 (内祝日入館者数) 154 人 開館日数 279 日 1日平均 9.0 人	3	<p>予定していた事業は、概ね計画どおり実施することができました。</p> <p>東温市内から寄贈された資料をテーマに沿って展示し、来館者がわかりやすい解説を設置しました。</p> <p>老人保健施設へ民具や風景写真のパネルの貸出を行うなど、外部への資料貸出に取り組めたことは今後の来館者増につながるものと期待されます。</p> <p>平成 30 年度も、祝日開館を試験的に実施し、子どもから大人まで幅広い年齢層が来館しやすいように配慮しました。</p> <p>今後も引き続き、館内展示の充実により、入館者の増加に努めていきます。</p> <p>民具資料や考古資料等の保存や整理を行うための収蔵庫の建設に係る実施設計</p>
年 度	入館者数								
平成 29 年度	2,936 人 (内祝日入館者数) 149 人 開館日数 277 日 1日平均 10.6 人								
平成 30 年度	2,521 人 (内祝日入館者数) 154 人 開館日数 279 日 1日平均 9.0 人								

			を行い、図面の作成や、建築費用の積算をして、令和元年度に入札を行う資料が整いました。
(2) 文化財・埋蔵文化財の調査 (決算額:9,819 千円)	市内の包蔵地の埋蔵文化財の試掘・確認調査を行いました。 また、県委託事業により揚り畑遺跡発掘調査報告書の作成を行いました。	3	埋蔵文化財包蔵地については、ホームページにより、適切に周知し、無断開発の防止に取り組んでおります。 揚り畑遺跡発掘調査報告書については、今年度全て完成したため、全国の博物館、関係機関等に寄贈しました。

【学識経験者意見】

埋蔵文化財の保護については、東温市の歴史のみならず、日本史に関係する発見も含まれる可能性があるため、非常に大切な調査です。調査・報告そして保護に取り組むことは、非常に大切な施策であり、それらに一定の予算措置が必要であることは致し方ないことだと思います。しかし、歴史民俗資料館は、昨年度より開館日が2日増えたにもかかわらず、来館者数が400名も減少している現状（1日平均も10.6人から9.0人へ減少）を鑑みると、企画展示やロビー展示を含み、関係職員による展示物の工夫や、企画展示の周知徹底を図る方法などを考察する必要性を感じます。例えばSNSを利用して、職員の一押し展示品をInstagramにアップすること（インスタ映えのアピール）やfacebookに興味深い展示品の説明や背景を加えてアップしアピールするなど今の時代に即した、予算を掛けない展示会の告知方法があると思います。

古き良きものを、最新のツールを利用して伝えていくといった改善の余地が残っており、これから発展に期待します。

対象事業	事業の実施状況	評価	自己評価
<p>(1) 市民大運動会、各種スポーツ大会の充実 (決算額：5,563千円)</p>	<p>市民の健康増進と市民相互の親睦・交流を深めることを目的に、市民大運動会をはじめ各種スポーツ大会を開催しました。</p> <p>〔市民バレーボール大会〕 荒天のため中止</p> <p>〔市民ソフトボール大会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年9月2日(日) ・参加分館：29分館 ・参加者数：487人 <p>〔市民大運動会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年10月21日(日) ・参加分館：32分館 ・延べ参加者数：2,901人 <p>〔はつらつママさんバレーボール〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年11月17日(土) 平成30年11月18日(日) ・来場者数：約500人 <p>〔三世代交流クローケー大会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年11月23日(金) ・参加者数：約110人 <p>〔こどもスポーツ大会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成30年12月1日(土) ・参加者数：139人 <p>〔市民健康マラソン大会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成31年1月27日(日) ・参加者数：129人 	3	<p>市民に定着している競技種目であるバレー、ソフトボールなどを例年実施しておりますが、一方で少子高齢化の進展により、分館によっては選手が集まらないなどの問題も出始めており、特に市民大運動会については、徐々に参加分館が減少傾向となっています。</p> <p>今後の開催継続については、今年度中に、開催の可否、内容の変更等について早急に検討します。</p>
<p>(2) スポーツ施設の整備、充実と各種体育施設の利活用の促進 (決算額：151,418千円)</p>	<p>施設各所に劣化が見られた川内体育センターについて、大規模改修工事を行いました。</p> <p>総合公園体育施設(多目的広場・庭球場・会議室)について平成31年度から新たに指定管理者制度導入施設に追加しました。(これまでは、ツイ</p>	3	<p>川内体育センターは大規模改修により、快適に利用できるようになりました。</p> <p>今年度からは、指定管理者制度導入施設を拡大することによ</p>

	<p>ンドーム重信・農林業者トレーニングセンター・川内体育センターの3施設)</p> <p>かすみの森公園及び緑地公園多目的広場について、作業員を新たに雇用し、月に1度程度整地を行うことができました。</p>	<p>り、管理費を増額することなくサービス向上に繋がることが期待されます。</p> <p>かすみの森公園等はグラウンドの状態を改善することができました。</p>
--	--	--

【学識経験者意見】

スポーツ活動の振興は、健康増進のみならず一緒にプレーし、またその後の慰労会等を一緒にすることにより、地域住民の情報共有や絆を醸成するために、とても大切な取り組みであると思います。しかし、大きなイベントとなっている運動会については、東温市合併後10年以上が経過し、また自己評価欄の記述の通り参加分館が減少傾向にある現状を鑑みれば、その開催内容や時期、また、開催自体を含めて、検討するべき時代に入っていると思います。自分自身が全ての活動に参加しているわけではありませんが、活動していつもうのは、どの活動に参加しても、参加者の顔ぶれがいつも変化しないという感覚があります。それは、スポーツ活動のみならず、地域のお祭りなどの文化活動を通じても同様に感じます。

住民同士がふれあい、知り合いになり、強い地域を作るための一つとして、スポーツ活動は強いツールとなりえると思います。そのため、運動会開催にとらわれることなく、地域住民にとってより興味深い、関心のある内容となるよう東温市の英知を結集して考察をお願いしたい。

指定管理者制度導入については、消費税10%への増税後も、利用料金や地域住民へのサービスを含め劣化しないことを前提条件として、その制度利用については推進が望ましいと思います。

かすみの森については、数年前に「グラウンド状況が著しく悪い」という話を聞いたことがあります。スポーツ中の住民や児童生徒のけがにもつながるため、そのような状態にはならないよう、より一層の配慮をお願いします。

教育委員会活動報告

1 教育委員会組織

○ 委員等の就任状況

役 職	氏 名	摘 要
教育長	池 川 仁 志	H30. 4. 1 再任
委 員 (教育長職務代理者)	菅 原 正 夫	H28. 11. 26 再任
委 員	遠 富 英 子	H30. 11. 25 退任
委 員	本 田 隆 彦	H29. 11. 26 再任
委 員	水 岡 明 美	H28. 11. 26 任命
委 員	清 家 隆 夫	H30. 11. 26 任命

2 教育委員会の会議等開催状況

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

区分	開催日	開催場所	協議事項
定例	4 月 24 日 (火) 9:00～11:30	東温市役所	<p>(議案)</p> <p>東温市スクールガードリーダーの委嘱について</p> <p>東温市教育支援委員会委員の委嘱について</p> <p>東温市教育相談員の委嘱について</p> <p>東温市通級指導教室通級判定委員会規則の一部改正について</p> <p>東温市通級指導教室通級判定委員会委員の委嘱について</p> <p>東温市特別支援連携協議会委員の委嘱について</p> <p>東温市結核対策委員会委員の委嘱について</p> <p>東温市社会教育委員 (兼 公民館運営審議会委員) の委嘱について</p> <p>東温市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>東温市立図書館協議会委員の委嘱について</p> <p>東温市立図書館運営選書会委員の委嘱について</p> <p>東温市文化財保護審議会委員の委嘱について</p> <p>東温市地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について</p>

			<p>(報告)</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について</p> <p>(その他報告)</p> <p>要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>教育委員会共催・後援事業について</p> <p>いじめ・不登校の状況について</p>
定例	5月25日(金) 13:30~16:10	東温市役所	<p>(議案)</p> <p>東温市特別支援連携協議会委員の委嘱について</p> <p>東温市青少年問題等協議会委員の委嘱について</p> <p>東温市青少年補導委員の委嘱について</p> <p>東温市教科用図書採択委員会委員及び東温市教科用図書採択委員会調査員の委嘱について</p> <p>東温市社会教育委員（兼公民館運営審議会委員）の委嘱について</p> <p>東温市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について</p> <p>東温市学校・地域・家庭連携運営委員会要綱の制定について</p> <p>東温市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>(報告)</p> <p>東温市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について</p> <p>東温市社会体育関係団体補助金交付要綱の一部改正について</p> <p>夏季休業期間中の学校閉庁日の設定について</p> <p>(その他報告)</p> <p>要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>教育委員会共催・後援事業について</p> <p>いじめ・不登校の状況について</p>

定例	6月26日(火) 9:00~12:00	東温市役所	(議案) 東温市青少年補導委員の委嘱について 東温市学校給食等食物アレルギー対策検討委員会委員の委嘱について (その他報告) 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育委員会共催・後援事業について いじめ・不登校の状況について
定例	7月24日(火) 13:30~16:00	東温市役所	(報告) 東温市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について (その他報告) 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育委員会共催・後援事業について いじめ・不登校の状況について
定例	8月23日(木) 9:00~11:40	東温市役所	(議案) 平成31年度使用小学校教科用図書採択について 平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書採択について 平成30年度(平成29年度対象)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について (報告) 平成30・31年度東温市子ども・子育て会議委員の委嘱について (その他報告) 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育委員会共催・後援事業について いじめ・不登校の状況について
臨時	8月29日(水) 13:00~14:05	東温市役所	(議案) 市内中学校生徒重大事案の対応等
臨時	9月13日(木) 15:00~16:30	東温市役所	(議案) 市内中学校生徒重大事案に係る調査報告書の提出について

定例	9月26日(水) 9:00~11:45	東温市役所	<p>(議案)</p> <p>東温市就学援助実施要綱の一部改正について 東温市学校・家庭・地域連携運営委員会委員の委 嘱について</p> <p>(報告)</p> <p>東温市ツインドーム重信、東温市農林業者トレー ニングセンター、東温市川内体育センター及び東温 市総合公園体育施設指定管理者選定及び指定手続き について</p> <p>(その他報告)</p> <p>要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育委員会共催・後援事業について いじめ・不登校の状況について</p>
定例	10月29日(月) 13:30~15:15	東温市役所	<p>(議案)</p> <p>東温市立中学校運動部活動の方針(案)について (報告)</p> <p>「東温市家庭的保育事業等の設備及び運営に関す る基準を定める条例」の一部改正について</p> <p>(その他報告)</p> <p>要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育委員会共催・後援事業について いじめ・不登校の状況について</p>
定例	11月15日(木) 9:00~11:45	東温市役所	<p>(議案)</p> <p>東温市立中学校運動部活動の方針(案)について (報告)</p> <p>平成30年度第1回東温市子ども・子育て会議報告 について</p> <p>平成30年度東温市要保護児童対策地域協議会代表 者会報告について</p> <p>平成30年度東温市立児童館運営委員会報告につい て</p> <p>(その他報告)</p> <p>要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育委員会共催・後援事業について いじめ・不登校の状況について</p>

定例	12月26日(水) 9:00~11:45	東温市役所	<p>(報告)</p> <p>東温市社会教育委員（兼公民館運営審議会委員）の委嘱について</p> <p>東温市立図書館協議会委員の委嘱について</p> <p>東温市立歴史民俗資料館協議会委員の委嘱について</p> <p>東温市立小学校及び中学校の通学区域並びに東温市立幼稚園の通園区域に関する規則の一部改正について</p> <p>東温市子ども基本条例検討調査部会設置要綱の制定について</p> <p>東温市子ども基本条例検討委員会設置要綱の制定について</p> <p>(報告)</p> <p>平成31年度市立保育所・幼稚園申込受付状況について</p> <p>(その他報告)</p> <p>要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>教育委員会共催・後援事業について</p> <p>いじめ・不登校の状況について</p>
定例	1月24日(木) 9:00~11:50	東温市役所	<p>(報告)</p> <p>東温市子ども・子育て支援に関するアンケートについて</p> <p>(その他報告)</p> <p>要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>教育委員会共催・後援事業について</p> <p>いじめ・不登校の状況について</p>
定例	2月20日(水) 9:00~11:20	東温市役所	<p>(議案)</p> <p>平成31年度学校医、学校歯科医、学校薬剤師、産業医の委嘱について</p> <p>東温市スポーツ推進計画の策定について</p> <p>(報告)</p> <p>平成31年度保育所嘱託内科医・嘱託歯科医について</p> <p>東温市児童館条例施行規則の一部改正について</p> <p>(その他報告)</p>

			要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育委員会共催・後援事業について いじめ・不登校の状況について
臨時	3月7日(木) 9:00~9:40	東温市役所	(議案) 平成30年度末教職員人事異動案件について
定例	3月25日(月) 9:00~11:00	東温市役所	(議案) 平成31年度東温市教育基本方針並びに重点施策の策定について 平成31年度東温市教育委員会職員の人事異動について 専門的教育職員の派遣に関する同意及び派遣に関する協定の締結について 東温市スクールガードリーダーの委嘱について 東温市特別支援教育指導員の委嘱について 東温市特別支援巡回相談員の委嘱について 東温市立歴史民俗資料館協議会委員の委嘱について 東温市図書館協議会委員の委嘱について 東温市図書館運営選書会委員の委嘱について 学校給食にかかる保護者から徴収する金額について (報告) 東温市幼稚園預かり保育事業実施要綱の改正について (その他報告) 要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育委員会共催・後援事業について いじめ・不登校の状況について

3 その他の活動

1. 総会等への参加

- 愛媛県市町教育委員会連合会定期総会、理事会
- 四国都市教育長連絡協議会総会
- 全国都市教育長協議会定期総会

2. 研究会等

- 東温市教職員研修会
- 学校評価報告会

3. 学校等行事への出席

- 幼稚園入園式、小・中学校入学式
- 保育所・幼稚園・小学校運動会、中学校体育祭
- 保育所・幼稚園卒園式、小・中学校卒業式
- 県立高校入学式
- 教職員着任式、離任式
- 小・中学校健全育成協議会

4. 社会教育行事への出席

- 市民大学
- 市民バレーボール大会
- 市民ソフトボール大会
- 文化祭
- 人権講座等

5. 学校等視察訪問

- 中予教育事務所管理主事訪問に同行
- 保育所・幼稚園訪問
- 児童館、放課後児童クラブ（子ども教室）、保育所・幼稚園、小・中学校施設状況視察